

令和9年度

入学者選抜要項



目 次

学生募集要項について	1
主な変更点について	2
I. 学部のアドミッション・ポリシー	5
II. 入学者選抜の概要	
1. 入学者選抜実施日程	16
2. 入学定員（募集人員）	17
III. 一般選抜	
1. 出願資格	20
2. 入学者選抜の実施教科・科目等	20
3. 教科・科目に係る個別テスト等（主体性評価）について	27
4. 教科・科目に係る個別テスト等（英語）の免除について（工学部）	27
5. 教科・科目に係る個別テスト等会場について	28
6. 2段階選抜について	28
7. 一般選抜（前期日程・後期日程）の入学試験問題について	28
IV. 学校推薦型選抜	
1. 各学部・学科課程（コース・専攻）の募集人員・出願要件・選抜方法等	29
2. 各学部・学科課程（コース・専攻）の配点	45
V. 総合型選抜	
各学部・学科課程（コース・専攻）の募集人員・出願要件・選抜方法等	46
VI. その他の選抜	
1. 帰国生徒選抜	58
2. 社会人選抜	59
3. 私費外国人留学生選抜	60
VII. 畜産別科入試	62
VIII. 障がい等のある入学志願者の事前相談	63
IX. 大学案内等の請求方法	64
X. 卒業後の進路・資格等	65
XI. 統計資料	73

令和8年7月



宮崎大学

University of Miyazaki

宮崎大学の教育理念とアドミッション・ポリシー（入学者受入・選抜の方針）

教育理念

宮崎大学は、「世界を視野に、地域から始めよう」のスローガンのもとに、人類の英知の結晶としての学術・文化に関する知的遺産の継承と発展、深奥なる学理の探究、地球環境の保全と学際的な生命科学の創造を目指し、変動する社会の多様な要請に応え得る人材を育成することを教育の理念として掲げています。本学では、これらの理念を具現化するために、以下の教育目標を掲げ充実した教育に取り組んでいます。

1. 人間性の教育

高い倫理性と責任感を育むとともに、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養する。

2. 社会性・国際性の教育

地球規模の視野に立ち、社会の多様な要請に対応して、柔軟で論理的な思考力をもって、社会の発展に積極的に貢献できる社会性・国際性を涵養する。

3. 専門性の教育

新たな知の創造につながる専門教育を実施し、獲得した知識・技能を総合的に活用して、自ら発見した課題に適用し、解決する創造的思考力や態度を育成する。

アドミッション・ポリシー（入学者受入・選抜の方針）

宮崎大学では、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）及びカリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）に掲げた、社会の発展に積極的に貢献する人材の育成を目指しています。そのため、以下の「求める学生像」に示す、知識・技能、思考力、及び意欲を持った人を国内外から積極的に受け入れます。

【求める学生像】

1. 本学の教育理念に共感し、入学後の学修に充分対応できる基礎的な知識・技能を有する人
2. 身に付けた知識・技能を応用して問題を解決する上で必要となる思考力を有する人
3. 身に付けた知識・技能及び思考力を地域社会や国際社会において自ら積極的に活用し、その発展に貢献する意欲を持った人

【入学者選抜の基本方針】

1. 求める学生像に沿って、多様な入学者選抜方法により多面的・総合的に選抜する。
2. 客観的で透明性のある方法によって、公平に選抜する。

宮崎大学ではこのような教育理念を各学部、学科、課程において達成するために、それぞれアドミッション・ポリシー（入学者受入・選抜の方針）を掲げています。

したがって、本学に入学を希望する人は、教養教育及び学部専門教育の内容及各学部、学科、課程のアドミッション・ポリシーを十分に理解した上で志願してください。

学生募集要項について

この入学者選抜要項は、本学が実施する令和9年度学部入試の概要を紹介するものです。選抜区分ごとの詳細については、学生募集要項によりお知らせします。それぞれの公表時期（予定）は、下表のとおりです。

選抜区分の名称	公表時期
一般選抜	11月下旬
学校推薦型選抜Ⅰ、Ⅱ	9月下旬
総合型選抜Ⅰ	公表済
総合型選抜Ⅱ	9月下旬
帰国生徒選抜、社会人選抜、私費外国人留学生選抜	9月下旬
畜産別科入試	10月中旬

なお、本学ではインターネットを利用した出願を行っており、学生募集要項も本学HPよりダウンロード（PDF形式）して入手してください。印刷した冊子はありません。（畜産別科を除く。）

学生募集要項掲載ページ

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/department-exam/>



Web 出願について

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/department-exam/Internet-apply.html>



自然災害や人為災害、感染症の全国的な感染拡大等により、出願期間、試験日、選抜方法等について変更することがあります。変更することを決定した場合は、直ちに本学ホームページ上でお知らせしますので、本学からの発表にご留意ください。

宮崎大学ホームページのトップ画面に表示されるチャットボットもご利用ください。多くの質問に対応しております。土日、夜間でもご利用いただけます。

【利用方法】

質問したい事項をメニューから選択するか、質問やそのキーワードを文字で入力いただくとAI（人工知能）が自動回答します。



宮崎大学ホームページ <https://www.miyazaki-u.ac.jp/>

主な変更点について

1. 教育学部における帰国生徒選抜の出願区分について

- ・帰国生徒を「総合型選抜Ⅰ」に出願可能とする。
- ・上記の変更に伴い、令和9年度入学試験より「帰国生徒選抜」を廃止する。
なお、「一般選抜」については、従来どおり帰国生徒が出願可能である。

2. 教育学部における学校推薦型選抜Ⅱの選抜方法等の変更について

選抜方法等を変更するコース・専攻

- ・教育学部学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻（宮崎県教員希望枠）
- ・教育学部学校教育課程小中一貫教育コース中学校主免専攻

●選抜方法等

【変更前（令和8年度まで）】

入試区分：学校推薦型選抜Ⅱ										
コース・専攻名	大学入学共通テスト						書類 審査	面接	小論文	合計
	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	情報				
小中一貫教育コース 小学校主免専攻 (宮崎県教員希望枠)	200	-	200	-	200	-	400		200	1200
小中一貫教育コース 中学校主免専攻	200	200 ※	200 ※	200 ※	200	200 ※	300		200	1100

※地歴・公民、数学、理科及び情報において、受験する科目のうち高得点の科目の成績を採用します。

【変更後（令和9年度から）】

入試区分：学校推薦型選抜Ⅱ										
コース・専攻名	大学入学共通テスト						書類 審査	面接	小論文	合計
	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	情報				
小中一貫教育コース 小学校主免専攻 (宮崎県教員希望枠)	200	-	200	-	200	-	300		-	900
小中一貫教育コース 中学校主免専攻	200	200 ※	200 ※	200 ※	200	200 ※	300		-	900

※地歴・公民、数学、理科及び情報において、受験する科目のうち高得点の科目の成績を採用します。

3. 地域資源創成学部における募集人員の変更について

募集人員を以下のとおり変更する。

一般選抜（前期日程） 募集人員 55 名 → 50 名

学校推薦型選抜Ⅰ 募集人員 20 名 → 25 名

■令和8年度（令和7年度実施）まで

入学定員	一般選抜		学校推薦型選抜
	前期 日程	後期 日程	Ⅰ
90	<u>55</u>	15	<u>20</u>

■令和9年度（令和8年度実施）より

入学定員	一般選抜		学校推薦型選抜
	前期 日程	後期 日程	Ⅰ
90	<u>50</u>	15	<u>25</u>

4. 「こども性暴力防止法」の施行に伴う実習等に関するお知らせ

こども性暴力防止法の施行により、2026年12月25日より、学校や保育所、学習塾など、児童等※に対して教育・保育などを行う事業者には、性暴力を防ぐための取組が求められます。

このことにより、児童等と接する業務に従事する者について、特定性犯罪前科の有無を確認する制度が適用されます。

本学学生が教育実習や保育実習、その他インターンシップやボランティア活動等（以下、「実習等」という。）に参加し児童等と接する業務に従事する場合も本制度の対象となります。

つきましては、以下の内容をご確認いただいたうえで、出願を検討いただきますようお願いいたします。

※児童等：幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校、幼保連携型認定こども園に在籍する幼児、児童または生徒、18歳未満の者、高等専門学校の1～3年生、専修学校の学生

1. 児童等と接する実習等を履修する学生への法に基づく犯罪事実確認について

実習等を行う前に、実習施設から特定性犯罪前科の有無の確認が行われる可能性があります。特定性犯罪前科の確認が必要であると判断された場合、実習生本人よりこども家庭庁への戸籍等の提出が必要となります。確認の結果、特定性犯罪前科が確認された学生は当該実習を行うことはできません。

2. 卒業要件について

児童等と接する実習等が卒業のための必須科目となっている学部・学科においては、当該実習等が行えない場合、卒業要件を満たすことができず、卒業できない可能性があります。

3. 免許・資格の取得について

特定性犯罪前科がある場合、児童等と接する実習等を行うことができないことにより、免許や資格が取得できなくなる可能性があります。

特に教員免許状については、特定性犯罪前科が確認され、児童等と接する実習等を行うことができない場合、本学では教員免許状に必要な単位を修得することができないため、普通免許状を取得することはできません。

4. 入学手続き時及び入学後の対応について

本学では、入学手続き時に以下の同意書および誓約書を提出いただきます。

- ・実習施設等が行う「犯罪事実確認」への同意書
- ・特定性犯罪前科がないことについての誓約書（※当該実習が卒業要件となる学部等）

また、入学後に児童等と接する実習等を行う段階で、改めて上記誓約書の提出を求めます。

なお、その他の学部・学科においても、入学後、児童等と接する実習等を行うこととなった場合、その段階で同様の誓約書の提出を求めます。

（参考）制度の詳細はこちらをご覧ください。

こども家庭庁 HP「こども性暴力防止法（学校設置者等および民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）」

リンク：<https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety/efforts/koseibouhou>

I. 学部のアドミッション・ポリシー

1. 教育学部

学校教育課程 小中一貫教育コース

小中一貫教育コースでは、児童・生徒の長期にわたる発達過程を見通す見識、児童・生徒への深い理解力、教員としての使命感、責任感、教育的愛情を身に付けた教員の養成を目標としています。

1. 求める学生像

小中一貫教育コースでは、小学校・中学校・小中一貫校等の教員を目指す、教職への意欲にあふれ、教職に必要なたしかな知識・技能(以下、「知識・技能」)について研鑽を積み、教育課題を解決するために必要な思考力(以下、「思考力」)、児童・生徒への適確な指導に資する表現力(以下、「表現力」)と学校現場で生きる協調性(以下、「協調性」)をもち、それらを高めるべく努力を怠らない人材を求めています。

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜Ⅱ	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的かつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。
総合型選抜Ⅰ	

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

求める能力や適性等 選抜方法		知識・技能	思考力	表現力	教職への意欲	協調性
前期日程	共通テスト	◎	○			
	教科・科目に係る個別テスト	◎	◎	◎		
	面接	○	◎	◎	◎	○
後期日程	共通テスト	◎	○			
	小論文	○	◎	◎	○	
	面接	○	◎	◎	◎	○
学校推薦型選抜Ⅱ 小学校主免専攻 (宮崎県教員希望枠)	共通テスト	◎	○			
	面接	○	◎	◎	◎	○
	提出書類	○	○	○	◎	
学校推薦型選抜Ⅱ 中学校主免専攻	共通テスト	◎	○			
	面接	○	◎	◎	◎	○
	提出書類	○	○	○	◎	
総合型選抜Ⅰ 小学校主免専攻 (宮崎県教員希望枠)	小論文	○	◎	◎	○	
	面接	○	◎	◎	◎	○
	口頭試問	◎	◎	◎		○
	提出書類	○	○	○	◎	

総合型選抜Ⅰ 中学校主免専攻 (音楽・美術・保健体育)	小論文	◎	◎	◎	○	
	面接	◎	◎	◎	◎	○
	各教科の定める 個別審査	◎	◎	◎		
	提出書類	○	○	○	◎	

4. 入学までに身に付けてほしいこと

高等学校で履修した教科に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、「思考力」、「表現力」、「協調性」など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれます。

学校教育課程 教職実践基礎コース

教職実践基礎コースでは、幼児期から青年期にわたる長期の発達過程を見通した上で、幼稚園・小学校・中学校・小中一貫校・義務教育学校に共通する教職に関する高い専門性を持ち、現代の教育課題に多角的に対応できる教員の養成を目標としています。

1. 求める学生像

教職実践基礎コースでは、幼稚園・小学校・中学校・小中一貫校・義務教育学校における教育に対して熱意を持って取り組み、教科全般に関わる基礎学力、また、得意とする分野の学力や技能（以下、「知識・技能」）を有し、これらを教育実践に活用しようとする教職への意欲を持っている人、現代の教育課題に対応するために、幅広い学問や文化を意欲的に学び、広い視野を身に付け、それを幼児教育・小学校教育・中学校教育・小中一貫教育に生かす思考力・表現力（以下、「思考力・表現力」）を持っている人、また、学び続ける喜びを幼児・児童・生徒と共有したいと考え、宮崎県をはじめとする地域に根ざす学校づくりの有力な一員となる協調性（以下、「協調性」）を持っている人を求めています。

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜Ⅰ (宮崎県教員希望枠)	高等学校での学業成績が優秀で、宮崎県の小学校教員を目指す者を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

求める能力や適性等 選抜方法		知識・技能	思考力 表現力	教職への意欲	協調性
前期日程	共通テスト	◎	○		
	教科・科目に係る個別テスト	○	◎		
	面接	○	○	◎	◎
学校推薦型選抜Ⅰ (宮崎県教員希望枠)	小論文	○	◎	◎	
	面接	○	○	◎	◎
	提出書類	○		◎	

4. 入学までに身に付けてほしいこと

高等学校で履修した教科に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、「思考力・表現力」、「協調性」など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれます。

学校教育課程 発達支援教育コース 子ども理解専攻

子ども理解専攻では、幼児期から児童思春期にわたる子どもの心理、発達過程を見通す深い見識と理解力、教員としての使命感、責任感、教育的愛情を身に付けた教員の養成を目的としています。

1. 求める学生像

子ども理解専攻では、幼児期から児童思春期の子どもの教育に対する意欲にあふれ、教職に必要なたしか知識・技能(以下、「知識・技能」)について研鑽を積み、目標に向けて強い意志と行動を貫くことができる思考力・主体性(以下、「思考力・主体性」)、児童・生徒への適確な指導に資する表現力(以下、「表現力」)と学校現場で子どもと保護者と信頼関係を築き、同僚と協力して問題に取り組んでいける対人関係能力(以下、「協調性」)を身に付けるための努力を怠らない人材を求めています。

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜Ⅱ	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的かつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

求める能力や適性等		知識・技能	思考力 主体性	表現力	教職への 意欲	協調性
前期日程	共通テスト	◎	○			
	教科・科目に係る個別テスト	○	◎	○		
	面接	○	◎	◎	◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ	共通テスト	◎	○			
	面接	○	◎	◎	◎	○
	提出書類	○	○	○	◎	○

4. 入学までに身に付けてほしいこと

高等学校で履修した教科に関する基礎学力を十分に身に付けておくことが望まれます。また、「思考力・主体性」、「表現力」、「協調性」など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人コミュニケーション能力を身に付けておくことが望まれます。

学校教育課程 発達支援教育コース 特別支援教育専攻

特別支援教育専攻では、障害のある児童・生徒それぞれの発達や特徴を捉える見識と深い児童・生徒理解力を持って初等教育を施すことができ、その上で障害に基づく種々の課題や困難を改善または克服するのに必要な知識、技能、態度及び習慣を養うための指導ができる特別支援学校教員の養成を目的としています。

1. 求める学生像

特別支援教育専攻では、特別支援教育に対する意欲を持って取り組み、特別支援教育に関する学修に十分対応できる基礎学力や基礎技能（以下、「知識・技能」）を有し、目標達成に向けて強い意志と行動を貫くことができる思考力・表現力（以下、「思考力・表現力」）、愛情豊かに他者を思いやることのできる協調性（以下、「協調性」）を持つ人、また、学修を通して獲得した知識・技能・行動力を教育現場に還元するための粘り強く創意工夫する力や向上心（以下、「創意工夫・向上心」）を有している人材を求めています。

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜Ⅰ	高等学校での学業成績が優秀で、特別支援学校教員を目指すことに意欲的な者を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

求める能力や適性等 選抜方法		知識・技能	思考力 表現力	特別支援教育への意欲	協調性	創意工夫 向上心
前期日程	共通テスト	◎	○			
	教科・科目に係る個別テスト	○	◎			
	面接		○	◎	◎	○
学校推薦型選抜Ⅰ	小論文	○	◎			
	面接		○	◎	◎	○
	提出書類	◎		○		

4. 入学までに身に付けてほしいこと

高等学校で履修した教科に関する基礎的学力を十分に身に付けておくことが望まれます。また、「思考力・表現力」、「協調性」など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれます。

2. 医 学 部

医 学 科

医学科では、臨床医、医学研究者、あるいは医学教育者として宮崎の地域医療に貢献し国際的にも活躍できる、優れた人材の育成を目標としています。

1. 求める学生像

医学科では、自ら課題を見つけ解決しようとする探求心と意欲、行動力（主体性・学問への関心）を有し、医学と医療を学ぶために必要な幅広い基礎学力・応用能力（知識・技能）と他者と協調・共感できる豊かな人間性（協調性・思考力・表現力）を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる人材を求めています。

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜Ⅱ （地域枠）	高等学校での学業成績が優秀で、宮崎県の地域医療に貢献する熱意がある入学希望者を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

求める能力や適性等 選抜区分		知識・技能	主体性・学問への関心 協調性・思考力・表現力
前期日程・後期日程	共通テスト	◎	○
	教科・科目に係る個別テスト	○	◎
	面接		◎
学校推薦型選抜Ⅱ （地域枠）	共通テスト	◎	○
	面接		◎

4. 入学までに身に付けてほしいこと

高校で履修した科目に関する基礎学力について十分な深達度を得ていることが望まれる。さらに、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれる。

看護学科

看護学科では、看護による健康への支援を通して、社会と地域の保健医療に貢献できる人材の育成を目標としています。

1. 求める学生像

看護学科では看護職者になろうという目的意識と看護学を学ぶために必要な基礎学力（知識・技能）を有し、生活している人々の身体的・精神的健康への関心（学問への関心）、自ら課題を見つけ解決しようとする意欲と行動力（主体性）、他者への共感と円滑なコミュニケーション能力（協調性・思考力・表現力）を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる学習意欲の高い人材を求めています。

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜Ⅱ	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的かつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

求める能力や適性等 選抜区分		知識・技能	主体性 学問への関心	協調性・思考力・ 表現力
前期日程	共通テスト	◎		
	面接		◎	○
学校推薦型選抜Ⅱ	共通テスト	◎		
	小論文		○	◎
	面接		◎	○

4. 入学までに身に付けてほしいこと

入試科目として課しているかどうかにかかわらず国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性、コミュニケーション能力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望ましい。

また、国際化の時代にあって、海外から看護の知識を導入し、わが国の看護の成果を発信していくためにも国際語である英語を学習する必要がある。

3. 工 学 部

工 学 科

1. 求める学生像

工学部では、宮崎県唯一の工学系学部として、「宮崎に根ざし世界に目を向けた工学部」を目標に、人間性が豊かで、コミュニケーション能力が高く、確実な基礎学力と幅広い応用能力を身に付け、21世紀の高度な科学技術分野や最先端技術分野で活躍できるような、問題発見・解決能力を備えた創造性豊かな技術者の育成を目指しています。そこで、以下に示す「入学後の学修に必要な能力・適性」を多面的かつ総合的な評価手法によって選考し、受け入れます。

- 1) 工学技術者を目指し、地域社会や国際社会の発展に貢献する意欲がある人（主体性）
- 2) 自ら考え、主体的に学修する目的意識を有する人（主体性）
- 3) 大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な協調性及びコミュニケーションの基本的なスキルを身に付けた人（協働性、表現力）
- 4) 工学における多様な分野にも興味を持ち、創造性豊かな技術力と問題発見・解決能力を身に付けて社会に貢献する意欲のある人（学問への関心、思考力）
- 5) 工学専門分野を修得できる基礎学力を有する人（知識・理解、思考力）

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜Ⅰ	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的でかつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。
総合型選抜Ⅰ	
私費外国人留学生選抜	外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

求める能力や適性等 選抜方法		知識・技能	思考力 表現力	主体性 協調性 学問への関心
前期日程・後期日程	共通テスト	◎	○	
	教科・科目に係る個別テスト	○	◎	
	主体性評価			◎
学校推薦型選抜Ⅰ	筆記試験	◎		
	小論文		◎	○
	面接	○	○	◎
	提出書類	○	○	◎
総合型選抜Ⅰ	筆記試験	◎		
	小論文		◎	○
	面接	○	○	◎
	提出書類	○	○	◎
私費外国人留学生選抜	日本留学試験	◎	○	
	小論文	○	◎	
	面接	○	○	◎

4. 入学までに身に付けてほしいこと

高校で履修した科目に関する基礎学力について十分な深達度を得ていることが望まれる。さらに、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれる。

4. 農学部

農学科

1. 求める学生像

農学科では、農学の幅広い学問領域において基礎的知識や能力（農学ジェネラリティ）を備え、かつ食料、環境、資源及び生命に関する高度な専門性（実践型スペシャリティ）を有する人材の育成を目標としています。

そこで、農学科では次のような人材を求めています。

- 1) 高等学校で履修した幅広い教科・科目を基盤とした知識や思考力を持ち、基礎科学や自然科学に強い関心を抱いている人
- 2) 食料・生命・資源・環境に関わる課題に対する強い関心を持ち、論理的な思考及び他者との協働により、課題解決に向け地域及び国内外で貢献する意欲を持っている人
- 3) 国際社会におけるダイバーシティの理解に努め、学修を通じて倫理観、語学力や国際的視点を修養することに意欲を持っている人
- 4) 数理データサイエンス・AI やそれらを活用した先端技術に興味を持ち、それらを主体的に学ぶ意欲を持っている人

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜Ⅰ	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的かつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。
総合型選抜Ⅰ	
総合型選抜Ⅱ	
帰国生徒選抜	
社会人選抜	
私費外国人留学生選抜	外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

動植物資源生命科学コース、森林環境持続性科学コース、海洋生命科学コース

求める能力や適性等 選抜方法		知識・技能	思考力 表現力	学問への関心	主体性 協働性
前期日程・後期日程	共通テスト	◎	○		
	教科・科目に係る個別テスト	○	◎		
	主体性評価			◎	◎
学校推薦型選抜Ⅰ	面接	○	◎	◎	◎
	提出書類	○	○	◎	○
総合型選抜Ⅰ	面接	○	◎	○	○
	模擬講義の受講及びレポート作成	○	◎	○	
	提出書類	○	○	◎	○
総合型選抜Ⅱ	共通テスト	◎	○		
	提出書類	○	○	◎	○

帰国生徒選抜	小論文		◎	◎	○
	面接	○	◎	◎	◎
	提出書類	○		○	
社会人選抜	面接	○	◎	◎	◎
	提出書類	○		○	
私費外国人留学生選抜	日本留学試験	◎	○		
	小論文		◎	◎	○
	面接	○	◎	◎	◎

応用生命化学コース

求める能力や適性等 選抜方法		知識・技能	思考力 表現力	学問への関心	主体性 協働性
前期日程・後期日程	共通テスト	◎	○		
	教科・科目に係る個別テスト	○	◎		
	主体性評価			◎	◎
総合型選抜Ⅰ	面接	○	◎	◎	◎
	筆記試験	◎	◎	○	
	提出書類	○	○	◎	◎
総合型選抜Ⅱ	共通テスト	◎	○		
	提出書類	○	○	◎	○
帰国生徒選抜	小論文		◎	◎	○
	面接	○	◎	◎	◎
	提出書類	○		○	
社会人選抜	面接	○	◎	◎	◎
	提出書類	○		○	
私費外国人留学生選抜	日本留学試験	◎	◎		
	小論文		◎	◎	○
	面接	○	◎	◎	◎

4. 入学までに身に付けてほしいこと

生物、化学、数学、英語、情報以外にも、国語や社会など、高校で履修する教科・科目について偏りなく勉強しておく必要があります。また、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために、主体性、協働性、表現力などもあわせて身に付けておくことを望みます。

獣医学科

1. 求める学生像

獣医学科では、農学に関する基礎知識、獣医専門知識、獣医的倫理観、獣医的応用・実践・開拓力、地域・国際社会への貢献能力を身に付けた人材の育成を目標としています。

そこで、獣医学科では、次のような人材を求めています。

- 1) 自然科学や社会的な課題に対する強い関心と、獣医学を学ぶことに対して明確な目的意識を持ち、修得した知識によって自然と共生する社会の実現に貢献する意欲を持っている人
- 2) 国籍や言語、文化、考え方の違いを超えて、他者と協調しながら活動するために必要な語学力や自己表現力を養う意欲を持っている人
- 3) 根拠に基づいて論理的に課題を解決するために、情報分析力、洞察力、課題探求力、思考力を養う意欲を持っている人
- 4) 数理データサイエンス・AI やそれらを活用した先端技術に興味を持ち、それを主体的に学ぶ意欲を持っている人
- 5) 学校推薦型選抜（地域枠）においては、獣医師として宮崎県に暮らす人々の生活を守り、地域の農林畜産業の発展に貢献する意欲を持っている人

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜Ⅱ（地域枠）	高等学校での学業成績が優秀で、宮崎県の産業動物獣医師確保を目的とした修学資金給付事業の推薦を受け、卒業後、宮崎県職員の獣医師として勤務する意思のある者を対象とし、入学者を選考します。
私費外国人留学生選抜	外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

求める能力や適性等 選抜方法		知識・技能	思考力 表現力	学問への関心	主体性 協働性
前期日程・後期日程	共通テスト	◎	○		
	教科・科目に係る 個別テスト等	○	◎		
	主体性評価			◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ （地域枠）	共通テスト	◎	○		
	面接	○	○	◎	◎
私費外国人留学生選抜	日本留学試験	◎	○		
	小論文		◎	◎	
	面接	○	○	◎	◎

4. 入学までに身に付けてほしいこと

高校で履修する教科・科目について、偏りなく勉強しておく必要があります。また、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために、主体性、協働性なども身に付けておくことを望みます。

5. 地域資源創成学部

地域資源創成学部では、地域資源を活用し新たな価値を創成する企画力・実践力の育成を図り、地域の活性化に不可欠なイノベーション創出に向けたマネジメントの知識と、地域資源の価値を複眼的に捉える視野を持った人材を養成し、実社会で即戦力として活躍できる人材の輩出を目標としています。

1. 求める学生像

地域資源創成学部では地域振興に対して熱意（学問への関心）を持って取り組み、社会科学および自然科学に対する基礎学力（知識・技能）を有し、コミュニケーション能力・表現力と思考力・判断力を持つ人、また学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる強い意思を持った人材を求めています。

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜Ⅰ	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的でかつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。
私費外国人留学生選抜	外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

求める能力や適性等		知識・技能	思考力 表現力	学問への関心	コミュニケーション能力	主体性
選抜方法						
前期日程	共通テスト	◎	○			
	総合問題	○	◎			
	主体性評価			◎	◎	◎
後期日程	共通テスト	◎	○			
	小論文	○	◎			
	面接			◎	◎	◎
学校推薦型選抜Ⅰ	小論文	◎	◎			
	面接		○	◎	◎	◎
私費外国人留学生選抜	日本留学試験	◎	○			
	小論文	◎	◎			
	面接		○	◎	◎	◎

4. 入学までに身に付けてほしいこと

国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、科目を越えて地域を捉える姿勢、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望ましい。

Ⅱ．入学者選抜の概要

1．入学者選抜実施日程

大学入学共通テスト			試 験 日	1 月 16 日 (土) ・ 17 日 (日)			
区 分		学 部 名	募集要項	出 願 期 間	試 験 日	合格発表日	入学手続締切
一般選抜	前期日程	医学部 看護学科 工学部 農学部 地域資源創成学部	11月下旬	1月25日(月) ～ 2月3日(水)	2月25日(木)	3月7日(日)	3月15日(月)
		教育学部 医学部 医学科			2月25日(木)・26日(金)		
	後期日程	教育学部 医学部 医学科 工学部 農学部 地域資源創成学部			3月12日(金)	3月20日(土)	3月27日(土)
学校推薦型選抜	Ⅰ	教育学部	9月下旬	11月2日(月) ～ 5日(木)	11月18日(水)	12月4日(金)	2月17日(水)
		工学部			11月16日(月)・17日(火) ※2		
		農学部 農学科			11月16日(月)・17日(火) ※3		
		地域資源創成学部			11月21日(土)		
	Ⅱ	教育学部		12月16日(水) ～ 18日(金)	1月21日(木)・22日(金) ※5	2月10日(水)	
		医学部 医学科 ※1		12月2日(水) ～ 4日(金)	12月16日(水)		
		農学部 獣医学科		11月2日(月) ～ 5日(木)	11月24日(火)		
		医学部 看護学科					
総合型選抜	Ⅰ	教育学部	公表済み	9月24日(木) ～ 28日(月)	(第1次選考) ※3 ※4 10月17日(土)・18日(日) (第2次選考) ※3 11月21日(土)・22日(日)	(第1次選考) 11月2日(月) (第2次選考) 12月4日(金)	
		工学部			(第1次選考) 書 類 選 考 (第2次選考) 11月16日(月)	(第1次選考) 10月20日(火) (第2次選考) 12月4日(金)	
		農学部 農学科		9月1日(火) ～ 3日(木)	(第1次選考) 書 類 選 考 (第2次選考) 9月28日(月)・29日(火)	(第1次選考) 9月11日(金) (第2次選考) 11月2日(月)	
	Ⅱ	農学部 農学科	9月下旬	1月20日(水) ～ 26日(火)	書 類 選 考	2月10日(水)	
帰国生徒選抜		農学部 農学科	9月下旬	11月2日(月) ～ 5日(木)	11月17日(火)	12月4日(金)	12月25日(金)
社会人選抜		農学部 農学科			11月17日(火)		
私費外国人 留学生選抜	工学部	11月16日(月)					
	農学部	11月17日(火)					
	地域資源創成学部	11月21日(土)					

- ※1 医学部医学科の学校推薦型選抜（地域枠）は第2次選考の日程を記載しています。
 ※2 筆記試験及び小論文は11月16日（月）に、面接は17日（火）に実施します。
 ※3 志願者数によっては1日目で終了する場合があります。
 ※4 教育学部小学校主専攻の第1次選考は、書類選考を行います。
 ※5 いずれか1日、又は2日間の受験となります。

2. 入学定員（募集人員）

学部	学科・課程等			入試形態	入学定員	募集人員											
						一般選抜		学校推薦型選抜		総合型選抜		帰国生徒選抜	社会人選抜	私費外国人留学生選抜			
						前期日程	後期日程	I	II	I	II						
教育学部	学校教育課程	小中一貫教育コース	小学校主免専攻	2/3型＋面接入試	140	20	-	-	25	5	-	-	-	-			
				理系型＋面接入試		10	-	-									
				小論文型＋面接入試		-	10	-									
		中学校主免専攻	2/3型＋面接入試	10		-	7	8	-	-					-		
			理系型＋面接入試	10		-											
			教職実践基礎コース			2/3型＋面接入試	8	-								7	-
		発達支援教育コース	子ども理解専攻	2/3型＋面接入試		7	-	-								3	-
			特別支援教育専攻	2/3型＋面接入試		7	-	3								-	-
		小 計				140	72	10	10	35					13	-	-
	医学部	医学科			100	45	15	-		-	-	-	-	-	-		
地域枠A			10														
		地域枠B		15													
		地域枠C		15													
看護学科			60	35	-		25	-	-	-	-	-					
小 計				160	80	15	-						65				
工学部	工学科			370	200	93	-	-	12	-	-	-	-	若干人			
	化学生命プログラム		9												2		
		土木環境プログラム													13	2	
		半導体サイエンスプログラム													9	2	
		電気電子システムプログラム													10	2	
		機械知能プログラム													12	2	
		情報通信プログラム													12	2	
	小 計				370	200	93	65	-	12	-	-	-	-			
	農学部	農学科			235	109	43	-	-	8	12	若干人	若干人	若干人			
動植物資源生命科学コース			15	-											3	5	
		森林環境持続性科学コース		7											-	4	14
		海洋生命科学コース		2											-	10	3
		応用生命化学コース		-											-		
獣医学科			30	20	10	-	若干人 (上限2名)	-	-	-	-						
小 計				265	129	53	24	-	25	34							
創地域資源学部	地域資源創成学科			90	50	15	25	-	-	-	-	-	-	若干人			
	小 計				90	50	15	25	-	-	-	-	-	-			
合 計					1,025	531	186	124	100	50	34						

（備考）

1. 一般選抜の各募集人員には、農学部獣医学科の学校推薦型選抜Ⅱ（地域枠）、帰国生徒選抜、社会人選抜、私費外国人留学生選抜の募集人員（それぞれ若干人）を含みます。
2. 教育学部の一般選抜のうち、小中一貫教育コース中学校主免専攻、教職実践基礎コース及び発達支援教育コースについては前期日程のみで実施します。また、医学部の一般選抜のうち、看護学科については前期日程のみで実施します。
3. 学校推薦型選抜の入学者が募集人員に満たない場合は、教育学部、医学部看護学科及び農学部農学科は前期日程、地域資源創成学部は後期日程の募集人員にその満たない人員を加えます。なお、教育学部学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻及び中学校主免専攻は、それぞれ【2/3型＋面接入試】に加えます。医学部医学科地域枠A・B・Cは、募集人員を満たした別の推薦枠に満たない人員を加えます。これでも募集人員に満たない場合は、前期日程の募集人員にその満たない人員を加えます。工学部宮崎県就職希望枠、女子枠、一般枠は、募集人員を満たした別の推薦枠に満たない人員を加えます。これによっても募集人員に満たない場合は、総合型選抜の募集人員にその満たない人員を加えます。これでも募集人員に満たない場合は、前期日程の募集人員にその満たない人員を加えます。農学部農学科動植物資源生命科学コースの専門学科等区分において、畜産枠・農業枠のいずれかの合格者が募集人員に満たない場合は、募集人員を満たした枠にその満たない人員を加えます。
4. 総合型選抜の入学者が募集人員に満たない場合は、教育学部は前期日程の【2/3型＋面接入試】、農学部は前期日程の募集人員にその満たない人数を加えます。工学部は学校推薦型選抜の募集人員にその満たない人員を加えます。これでも募集人員に満たない場合は、前期の募集人員にその満たない人員を加えます。

○教育学部学校教育課程について

1. 小中一貫教育コースの専修決定について

教育学部学校教育課程小中一貫教育コースでは、入学後、一つの教科を専修とします。専修とすることのできる教科は、小学校主免専攻、中学校主免専攻ともに国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、家庭及び英語です。さらに小学校主免専攻においては、技術も専修とすることができます。

中学校主免専攻においては技術を専修とすることはできませんが、他の教科を専修として技術の中学校教諭1種、あるいは2種免許を取得することが可能です。また、小学校主免専攻において、技術を専修として、技術の中学校教諭1種、あるいは2種免許を取得することが可能です。

なお、決定方法は次のとおりです。

小学校主免専攻：本人の希望を考慮した上で、入学後に決定します。

中学校主免専攻：出願時に選択した教科が専修となります。なお、総合型選抜以外の入試区分については、出願時に選択した教科が合否判定に影響することはありません。

2. 入学後のコース等の変更について

学校推薦型選抜及び総合型選抜での入学者は、原則としてコース・専攻等の変更はできませんので注意してください。

3. 「こども性暴力防止法」の施行に伴う実習等に関するお知らせ（4ページ掲載）に係る補足について

教育学部では、特定性犯罪がある場合、学校等における実習及び児童等と接する諸活動を行うことができないため、教員免許状に必要な教育実習等の単位を修得することができません。

また、卒業のための必須科目となっている教育実習等の単位が修得できない場合、卒業要件を満たすことができず、原則、卒業することができません。

以上をご理解いただいた上で、出願を検討いただきますようお願いいたします。

[教育学部に関するお問い合わせ先]
宮崎大学教育学部教務・学生支援係
TEL：0985-58-2891

○工学部について

1. 一般選抜について

工学部工学科の一般選抜（前期・後期）では、出願時に全6プログラム（化学生命・土木環境・半導体サイエンス・電気電子システム・機械知能・情報通信）に対して、第1志望から順に最大第6志望まで選んで出願することができます。

合格判定は、工学部工学科の全受験者を大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テストならびに主体性評価の総合得点順に並べ、得点上位者から受験者の志望に応じて順次、合格者を決定します。

各プログラムの目安定員は以下のとおりです。

学科	プログラム（1年次：系）	前期日程		後期日程	
		募集定員	目安定員	募集定員	目安定員
工 学 科	化学生命プログラム （1年次：化学生命系）	200	37	93	17
	土木環境プログラム （1年次：土木環境系）		28		12
	半導体サイエンスプログラム （1年次：半導体サイエンス系）		22		17
	電気電子システムプログラム （1年次：電気電子システム系）		31		15
	機械知能プログラム （1年次：機械知能系）		37		13
	情報通信プログラム （1年次：情報通信系）		45		19

2. プログラム配属について

一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜及び私費外国人留学生選抜における合格者は、入学時に合格したプログラムへ仮配属（系に配属）されます。

※入学時に、合格した各プログラムとリンクする「系」に配属（いわゆる仮配属）します。1年次は、希望する分野やその関連分野、異分野の学問体系や研究内容、就職先等について横断的に概観し、自分の本当にやりたいことの意識付けとキャリアデザインの初設計の期間に充てています。

1年次の授業で各プログラムについて理解を深め、2年次から各プログラムへ本配属されます。基本的には同じ系からプログラムへ本配属されますが、一般選抜、私費外国人留学生選抜での合格者は1年次系内で成績が上位25%かつ受入定員（プログラム目安定員の10%程度）内であれば、2年進級前に、異なるプログラムを希望することも可能です。

※希望者数が受入定員を超過した場合には、工学部が定めた基準による成績順に、受入定員まで配属することとしています。

※学校推薦型選抜及び総合型選抜での合格者は、異なるプログラムへ希望することはできませんので、注意してください。

[工学部に関するお問い合わせ先]
宮崎大学工学部教務・学生支援係
TEL：0985-58-2874

○農学部農学科について

1. 一般選抜について

農学部農学科の一般選抜（前期・後期）では、出願時に全4コース（動植物資源生命科学コース、森林環境持続性科学コース、海洋生命科学コース、応用生命化学コース）から最大第4志望まで選んで出願することができます。合格判定では、農学部農学科の全受験者を大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テスト、ならびに主体性評価の総合得点順に並べ、得点上位者から受験者の志望に応じて順次、合格者を決定します。合格判定過程で、出願時に記入した志望コース全てにおいて、既にコース仮配属（下記2. コース配属についてを参照）上限数に達していた場合は合格者とはなりません。

志望コースは第4志望まで全て記入する必要はありませんが、記入した志望コース全てでコース仮配属上限数に達していた場合は、合格最低点以上であっても志望の記入がないコースでの合格判定は行われませんので、仮配属を希望するコース名は出願時に全て記入しておいてください。記入されていないコースには入学する意思がないとみなします。各コースの目安定員は以下のとおりです。

学 科	コース	前期日程		後期日程	
		募集定員	目安定員	募集定員	目安定員
農 学 科	動植物資源生命科学コース	109	50	43	15
	森林環境持続性科学コース		23		12
	海洋生命科学コース		12		8
	応用生命化学コース		24		8

2. コース配属について

合格者は、入学時に合格したコースへ仮配属され、1年次は学科共通の基盤となる基礎的な学問体系にかかる理解を深め、キャリアデザインについても意識を高めていく期間に充てています。2年進級時に各コースへ本配属となり、専門性を高めて行きます。基本的には仮配属コースと同じコースに本配属されますが、一般選抜での合格者は、各コースの定める追加受入上限数の範囲内（各コース若干名）で、2年進級時に仮配属コースとは違うコースにコース移動することも可能です。

コース移動希望者数が追加受入上限を超過した場合には、農学部が定めた基準による成績順に、追加受入上限数に達するまで配属します。

なお、学校推薦型選抜、総合型選抜、帰国生徒選抜、社会人選抜及び私費外国人留学生選抜での合格者は、仮配属とは異なるコースへの本配属を希望することはできません。

[農学部に関するお問い合わせ先]
宮崎大学農学部教務・学生支援係
TEL：0985-58-3834

Ⅲ. 一般選抜

1. 出願資格

本学に出願できる者は、次のいずれかに該当し、かつ、令和9年度大学入学共通テストのうち本学が指定した教科・科目（第1解答科目の指定を含む。）を受験した者としてします。

ただし、学校推薦型選抜、総合型選抜、帰国生徒選抜、社会人選抜、私費外国人留学生選抜については、該当のページを参照してください。

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月までに卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者

※上記③に該当する者のうち、学校教育法施行規則第150条第7号の規定により個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者には入学資格を認めます。

本学の個別の入学資格審査により入学資格の認定を受けようとする者は、本学学び・学生支援機構入試課にお問い合わせください。なお、詳細は本学ホームページにも掲載してありますので、下記のURLからご参照ください。

【URL】 <https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/require.html>



2. 入学者選抜の実施教科・科目等

大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等の受験教科・科目等は、21～26ページのとおりです。志望する学部・学科課程（コース・専攻）の指定した教科・科目を確実に受験してください。

なお、大学入学共通テストにおいて、指定した教科・科目（第1解答科目の指定を含む）を受験していないことが判明した場合、出願無資格者として取り扱いますので、注意してください。

また、教科・科目に係る個別テスト等において、指定した教科・科目等を1つでも受験していない者は、当該学部の合否判定の対象となりませんので、注意してください。

1) 大学入学共通テストの教科・科目名は、次のように表記しています。

教科名	科 目 名
国語→国	『国語』→『国語』
地理歴史、公民→地歴公民	『地理総合、地理探究』→『地総、地探』、『歴史総合、日本史探究』→『歴総、日探』、 『歴史総合、世界史探究』→『歴総、世探』、『公共、倫理』→『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』→『公共、政経』、『地理総合／歴史総合／公共』→『地総／歴総／公共』
数学→数	『数学Ⅰ、数学A』→『数Ⅰ、数A』、『数学Ⅱ』→『数Ⅱ』、『数学Ⅲ』→『数Ⅲ』、 『数学Ⅰ、数学B、数学C』→『数Ⅰ、数B、数C』
理科→理	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』→『物基／化基／生基／地基』 『物理』→『物』、『化学』→『化』、『生物』→『生』、『地学』→『地学』
外国語→外	『英語』→『英』、『ドイツ語』→『独』、『フランス語』→『仏』、『中国語』→『中』、 『韓国語』→『韓』
情報→情	『情報Ⅰ』→『情Ⅰ』

2) 教科・科目に係る個別テスト等の出題科目名は、上記1)と同様に表記するほか、次のように表記しています。

科目名	『数学Ⅲ』→『数Ⅲ』、『英語コミュニケーションⅠ』→『英コⅠ』、 『英語コミュニケーションⅡ』→『英コⅡ』、『英語コミュニケーションⅢ』→『英コⅢ』、 『論理・表現Ⅰ』→『論・表Ⅰ』、『論理・表現Ⅱ』→『論・表Ⅱ』、『論理・表現Ⅲ』→『論・表Ⅲ』
-----	---

① 教育学部

前期日程

●2/3型+面接入試（注◎）

＜課程・コース及び募集人員＞ 学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主免専攻：20人 中学校主免専攻：10人
教職実践基礎コース 8人
発達支援教育コース 子ども理解専攻：7人 特別支援教育専攻：7人

大学入学共通テストの利用教科・科目名		教科・科目に係る個別テスト等		大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等								
教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	情報	面接	配点合計
国	国語	国	現代の国語・言語文化	共通テスト	200	200	200	100	200	100		1000
数	(数Ⅰ、「数Ⅰ、数A」から1)と「数Ⅱ、数B、数C」の2	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C			100		200				
地歴公民	「地総 地架」、「歴総 日架」、「歴総 世架」、「公共 倫理」、「公共 政経」、 (「地総/歴総/公共」から2)	外	英Ⅰ・英Ⅱ・「論・表Ⅰ」・「論・表Ⅱ」	教科・科目に係る個別テスト等	100*		100*		100*		300	500
理	物 化 生 地学 (物基/化基/生基/地基から2) から1又は2	その他	面接	計	300*	200	300*	100	300*	100	300	1500
外	英 (リスニングを含む)、独 仏 中 韓から1					100		200				
情	情Ⅰ											
(6教科8科目・7教科8科目)												

●理系型+面接入試（注◎）

＜課程・コース及び募集人員＞ 学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主免専攻：10人 中学校主免専攻：10人

大学入学共通テストの利用教科・科目名		教科・科目に係る個別テスト等		大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等								
教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	情報	面接	配点合計
国	国語	国	現代の国語・言語文化	共通テスト	200	100	200	300	200	100		1100
数	(数Ⅰ、「数Ⅰ、数A」から1)と「数Ⅱ、数B、数C」の2	外	英Ⅰ・英Ⅱ・「論・表Ⅰ」・「論・表Ⅱ」									
地歴公民	「地総 地架」、「歴総 日架」、「歴総 世架」、「公共 倫理」、「公共 政経」、 (「地総/歴総/公共」から2)	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C	教科・科目に係る個別テスト等	100*		200		100*		200	500
理	物 化 生 地学から2	その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C	計	300*	100	400	300	300*	100	200	1600
外	英 (リスニングを含む)、独 仏 中 韓から1											
情	情Ⅰ											
(6教科8科目)												

(注◎) 学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻及び中学校主免専攻では、第2志望選抜を実施します。詳細は22ページを参照してください。

(注☆) 次の①②よりいずれかを選択。

- ①地歴・公民から2科目と理科から1科目（同一名称を含む科目（「公共 倫理」と「公共 政経」）の選択は不可。また、「地総/歴総/公共」を選択した場合、選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む他の科目の組合せの選択は不可。）
- ②地歴・公民から1科目と理科から2科目（同一名称科目（物基と物、化基と化、生基と生、地基と地学）の選択は不可。）

(注★) 「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C」及び「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C」については、試験当日、問題を見た上で選択。

後期日程

●小論文型+面接入試

＜課程・コース及び募集人員＞ 学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主免専攻：10人

大学入学共通テストの利用教科・科目名		教科・科目に係る個別テスト等		大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等									
教科	科 目 名 等	教科等	科 目 名 等	試験の 区 分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	面接	配点 合計
国 数	国語 (数Ⅰ、「数Ⅰ、数A」から1)と「数Ⅱ、数B、数C」の2	その他	小論文 面接	共 通 テ ス ト	200	200	200	100	200	100			1000
	100					200							
地歴 公民	「地総 地架」、「歴総 日架」、「歴総 世架」、 「公共 倫理」、「公共 政経」、 (「地総/歴総/公共」から2)			教科・科目 に係る個別 テスト等							300	300	600
理 外 情	物 化 生 地学 (物基/化基/生基/地基から2) から1又は2 英 (リスニングを含む)、独 仏 中 韓から1 情Ⅰ			計	200	200	100	200	100	300	300	1600	
〔6教科8科目・7教科8科目〕													

(注☆) 次の①②よりいずれかを選択。

- ①地歴・公民から2科目と理科から1科目（同一名称を含む科目（「公共 倫理」と「公共 政経」）の選択は不可。また、「地総/歴総/公共」を選択した場合、選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む他の科目の組合せの選択は不可。）
- ②地歴・公民から1科目と理科から2科目（同一名称科目（物基と物、化基と化、生基と生、地基と地学）の選択は不可。）

【注】22ページの注意事項を必ずお読みください。

注意事項（教育学部）

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 1) 地歴・公民及び理科を2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」として取り扱います。
- 2) 地歴・公民を1科目と指定している場合において、2科目受験しているときは、受験した科目のうち第1解答科目の成績を採用します。
(理系型+面接入試が該当)
- 3) 地歴・公民、理科の受験科目を3科目と指定している場合において、指定科目数を超えて受験しているときは、『地歴・公民の第1解答科目』と『理科の第1解答科目』と『「地歴・公民の第2解答科目」、「理科の第2解答科目」のうち高得点の1科目』を採用します。(2/3型+面接入試(前期)、小論文型+面接入試(後期)が該当)
- 4) 「外国語」において『英語』は、リーディング、リスニングの両方を必ず受験してください(大学入試センターからリスニングを免除された者を除く)。リーディングのみ受験した者(免除者を除く)及びリスニングのみ受験した者は英語を受験しなかった者として取り扱います。
また、リーディング、リスニングの配点はそれぞれ160点、40点とします。なお、リスニングを免除された者はリーディングの得点を200点に換算します。
- 5) 大学入学共通テストの成績は、全ての課程・コース(専攻)において令和9年度のものに限り利用します。

【教科・科目に係る個別テスト等】欄

「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C」及び「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C」については、試験当日、問題を見た上で選択。

また、数学の出題範囲については以下のとおりとします。

- ①数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは全範囲から出題します。
- ②数学Bは「数列」「統計的な推測」、数学Cは「ベクトル」「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。

【大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等】欄

配点に*印を付してある教科は選択教科を示します。

※第2志望について

- 1) 教育学部の前期日程で2/3型+面接入試『学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻又は中学校主免専攻』を志願する場合、第1志望の専攻に加えて、『』内の別の専攻を第2志望とすることができます。
- 2) 教育学部の前期日程で理系型+面接入試『学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻又は中学校主免専攻』を志願する場合、第1志望の専攻に加えて、『』内の別の専攻を第2志望とすることができます。
- 3) 第1志望の専攻と第2志望の専攻が同一の場合又は第2志望の専攻が未記入の場合は、第1志望の専攻でのみ合否判定します。

② 医 学 部

学 科	日程及び 募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		教科・科目に係る個別テスト等			大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等									
		教科	科 目 名 等	教科等	科 目 名 等	2段階 選 抜	試験の 区 分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	面接	配点 合計
医 学 科	前 期 45人	国	国語	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C	下 記 注 意 事 項 参 照	共 通 テスト	200	100	200	200	200	100			1000
		地歴 公民	「地総 地深」、 「歴総 日深」、 「歴総 世深」、 「公共 倫理」、 「公共 政経」、 （ 「地総／歴総／公共」 から2）	理	物基・物 化基・化 生基・生		教科・科目 に係る個別 テスト等			200	200	200			※	600
		数 理 外 情	「数Ⅰ、数A」と 「数Ⅱ、数B、数C」 の2 物 化、生から2 英（リスノグを含む）	外 その他	英ⅡⅠ・英ⅡⅡ・英ⅡⅢ・ 「論・表Ⅰ」・ 「論・表Ⅱ」・ 「論・表Ⅲ」 〔3教科4科目〕		計	200	100	400	400	400	100			1600
	後 期 15人	情	情Ⅰ	外	英ⅡⅠ・英ⅡⅡ・英ⅡⅢ・ 「論・表Ⅰ」・ 「論・表Ⅱ」・ 「論・表Ⅲ」 〔1教科1科目〕	下 記 注 意 事 項 参 照	共 通 テスト	200	100	200	200	200	100			1000
			〔6教科8科目〕	その他	面接		教科・科目 に係る個別 テスト等					150			※	150
							計	200	100	200	200	350	100			1150
看 護 学 科	前 期 35人	国	国語	その他	面接		共 通 テスト	200	100	200	100	200	100			900
		地歴 公民	「地総 地深」、 「歴総 日深」、 「歴総 世深」、 「公共 倫理」、 「公共 政経」、 （ 「地総／歴総／公共」 から2）				教科・科目 に係る個別 テスト等								300	300
		数 理 外 情	「数Ⅰ、数A」と 「数Ⅱ、数B、数C」 の2 物 化、生、（物基／化基／生基から2） から1 英（リスノグを含む） 情Ⅰ 〔6教科7科目〕				計	200	100	200	100	200	100		300	1200

【注】下記の注意事項を必ずお読みください。

注意事項（医学部）

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】 欄

- 1) 地歴・公民及び理科を2科目受験する場合は、 解答順に「第1 解答科目」及び「第2解答科目」として取り扱います。
- 2) 地歴・公民を2科目受験しているときは、「第1 解答科目」の成績を採用します。
- 3) 看護学科において、理科を2科目受験しているときは、第 1 解答科目の成績を採用します。
- 4) 「外国語」において『英語』は、リーディング、リスニングの両方を必ず受験してください（大学入試センターからリスニングを免除された者を除く）。
リーディングのみ受験した者（免除者を除く）及びリスニングのみ受験した者は英語を受験しなかった者として取り扱います。
また、リーディング、リスニングの配点はそれぞれ 160 点、40 点とします。なお、リスニングを免除された者はリーディングの得点を 200 点に換
算します。
- 5) 大学入学共通テストの成績は、全ての学科において令和9年度のものに限り利用します。

【教科・科目に係る個別テスト等】 欄

- 1) 数学の出題範囲については以下のとおりとします。
①数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは全範囲から出題します。
②数学Bは「数列」「統計的な推測」、数学Cは「ベクトル」「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。
- 2) 理科の出題範囲については以下のとおりとします。
①物理基礎・物理は全範囲から出題します。
②化学基礎・化学は全範囲から出題します。
③生物基礎・生物は全範囲から出題します。
- 3) 医学部医学科において、第1 段階選抜は大学入学共通テストの成績により行い、原則として前期は募集人員の約6倍までを、後期は募集人員の約 14
倍までを合格者とし、その合格者に対して教科・科目に係る個別テスト等を行います。

【大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等】 欄

※面接は、 合否判定の重要な資料とします。面接の評価が合格に達していない者は不合格とします。

③ 工 学 部

学科	日程及び 募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		教科・科目に係る個別テスト等		大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等								
		教科	科 目 名 等	教科等	科 目 名 等	試験の 区 分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	情報	主体性 評 価	配点 合計
工 学 科	前 期 200人	国	国語	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C 物基・物 化基・化から1 英ⅡⅠ・英ⅡⅡ・「論・表Ⅰ」 〔3教科3科目〕	共 通 テスト	100	50	200	200	100	50		700
		地歴 公民	「地総 地探」、「歴総 日探」、「歴総 世探」、 「公共 倫理」、「公共 政経」、 （「地総／歴総／公共」から2）			教科・科目 に係る個別 テスト等			400（注★）		100		10	510
		数	「数Ⅰ，数A」と「数Ⅱ，数B，数C」の2				計	100	50	800		200	50	10
		理 外 情	物 化、生から2 英（リスニングを含む）、独 仏、中、韓から1 情Ⅰ 〔6教科8科目〕											
	後 期 93人	国	国語	理	物基・物 化基・化から1 〔1教科1科目〕	共 通 テスト	100		200	200	100	50		650
		数	「数Ⅰ，数A」と「数Ⅱ，数B，数C」の2			教科・科目 に係る個別 テスト等				300			5	305
理 外 情		物 化、生から2 英（リスニングを含む）、独 仏、中、韓から1 情Ⅰ 〔5教科7科目〕	計				100		200	500	100	50	5	955

（注★）前期日程において、数学・理科は必ず両教科とも受験してください。配点は数学：200 点、理科：200 点とし、数学・理科の合計（400）点または数学のみ（400 点換算）の点数のうち高得点のものを採用します。

【注】下記の注意事項を必ずお読みください。

注意事項（工学部）

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 1）地歴・公民及び理科を2科目受験する場合は、解答順に「第1 解答科目」及び「第2 解答科目」として取り扱います。
- 2）地歴・公民を2科目受験しているときは、「第1 解答科目」の成績を採用します。
- 3）「外国語」において『英語』は、リーディング、リスニングの両方を必ず受験してください（大学入試センターからリスニングを免除された者を除く）。
リーディングのみ受験した者（免除者を除く）及びリスニングのみ受験した者は英語を受験しなかった者として取り扱います。
また、リーディング、リスニングの配点はそれぞれ80 点、20 点とします。なお、リスニングを免除された者はリーディングの得点を 100 点に換算します。
- 4）大学入学共通テストの成績は、令和9年度のものに限り利用します。

【教科・科目に係る個別テスト等】欄

- 1）数学の出題範囲については以下のとおりとします。
①数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは全範囲から出題します。
②数学Bは「数列」「統計的な推測」、数学Cは「ベクトル」「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。
- 2）理科の出題範囲については以下のとおりとします。
①物理基礎・物理は全範囲から出題します。
②化学基礎・化学は全範囲から出題します。
- 3）前期日程において、英語の資格・検定試験の一定以上のスコア（級）を取得している場合、教科・科目に係る個別テストにおける英語の試験を免除し、英語を満点とします。
詳細については27 ページを参照してください。

※出願について

出願時に全6プログラム（化学生命・土木環境・半導体サイエンス・電気電子システム・機械知能・情報通信）に対して、第 1 志望から順に最大第6志望まで選んで出願することができます。詳細については 18 ページを参照してください。

④ 農 学 部

学科	日程及び 募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		教科・科目に係る個別テスト等		大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等								
		教科	科 目 名 等	教科等	科 目 名 等	試験の 区 分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	情報	主体性 評 価	配点 合計
農 学 科	前 期 109人	国	国語	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C } から1 物基・物 化基・化 生基・生 } から1 〔1教科1科目〕	共通 テスト	100	50	100	100	100	50		500
		地歴 公民	「地総 地歴」、「歴総 日歴」、「歴総 世歴」、 「公共 倫理」、「公共 政経」、 （「地総/歴総/公共」から2） } から1			教科・科目 に係る個別 テスト等			200 ＊	200 ＊			10	210
		数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」の2			計	100	50	300 ＊	300 ＊	100	50	10	710
	後 期 43人	理	物 化 生 地学（物基/化基/生基/地基から2）から2（注★） 英（ <i>リスニング</i> を含む） 情Ⅰ 〔6教科8科目〕	理	物基・物 化基・化 生基・生 } から1 〔1教科1科目〕	共通 テスト	100	50	100	100	100	50		500
		教科・科目 に係る個別 テスト等							300			10	310	
		計				100	50	100	400	100	50	10	810	
獣 医 学 科	前 期 20人	国	国語	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C } から2 物基・物 化基・化 生基・生 } から1 英ⅡⅠ・英ⅡⅡ・ 「論・表Ⅰ」・「論・表Ⅱ」 } から2 〔2教科2科目〕	共通 テスト	200	100	200	200	200	100		1000
		地歴 公民	「地総 地歴」、「歴総 日歴」、「歴総 世歴」、 「公共 倫理」、「公共 政経」、 （「地総/歴総/公共」から2） } から1			教科・科目 に係る個別 テスト等			200 ＊	200 ＊	200 ＊		5	405
		数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」の2			計	200	100	400 ＊	400 ＊	400 ＊	100	5	1405
	後 期 10人	理	物 化 生から2 英（ <i>リスニング</i> を含む） 情Ⅰ 〔6教科8科目〕	理	物基・物 化基・化 生基・生 } から1 〔1教科1科目〕	共通 テスト	200	100	200	200	300	100		1100
		教科・科目 に係る個別 テスト等							200			5	205	
		計				200	100	200	400	300	100	5	1305	

（注★）同一名称を含む出題科目（物基と物、化基と化、生基と生、地基と地学）を同時に選択することはできません。

【注】下記の注意事項を必ずお読みください。

注意事項（農学部）

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 1) 地歴・公民及び理科を2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」として取り扱います。
- 2) 地歴・公民を2科目受験しているときは、「第1解答科目」の成績を採用します。
- 3) 「外国語」において『英語』は、リーディング、リスニングの両方を必ず受験してください（大学入試センターからリスニングを免除された者を除く）。
リーディングのみ受験した者（免除者を除く）及びリスニングのみ受験した者は英語を受験しなかった者として取り扱います。
また、リーディング、リスニングの配点は次のとおりとします。

学 科	前期日程		後期日程	
	リーディング	リスニング	リーディング	リスニング
農学科	75	25	75	25
獣医学科	140	60	200	100

なお、リスニングを免除された者はリーディングの得点を各学科・コースの配点に換算します。

- 4) 大学入学共通テストの成績は、全ての学科において令和9年度のものに限り利用します。

【教科・科目に係る個別テスト等】欄

- 1) 数学の出題範囲については以下のとおりとします。
①数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aは全範囲から出題します。
②数学Bは「数列」「統計的な推測」、数学Cは「ベクトル」「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。
- 2) 理科の出題範囲については以下のとおりとします。
①物理基礎・物理は全範囲から出題します。
②化学基礎・化学は全範囲から出題します。
③生物基礎・生物は全範囲から出題します。

【大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等】欄

配点に＊印を付してある教科は選択教科を示します。

※出願について

農学科は出願時に全4コース（動植物資源生命科学コース、森林環境持続性科学コース、海洋生命科学コース、応用生命化学コース）に対して、第1志望から最大第4志望まで選んで出願することができます。詳細については19ページを参照してください。

⑤ 地域資源創成学部

学 科	日程及び 募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		教科・科目に係る個別テスト等		大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等											配点 合計
		教科	科 目 名 等	教科等	科目名等	試験の 区 分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	総合 問題	面接	主体性 評 価	
地 域 資 源 創 成 学 科	前 期 50人	国 数	国語 (数Ⅰ、「数Ⅰ，数A」から1)と「数Ⅱ，数B，数C」の2	その他	総合問題	共 通 テスト	200	200 100	200	100 200	200	50					950
		地歴 公民	「地総、地深」、「歴総、日深」、「歴総、世深」、 「公共、倫理」、「公共、政経」、 (「地総／歴総／公共」から2)			教科・科目 に係る個別 テスト等								350		10	360
		理	物、化、生、地学 (物基／化基／生基／地基から2) から1又は2			計	200	200 100	200	100 200	200	50		350		10	1310
	後 期 15人	外 情	英 (J/ニガを含む)、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ (6教科8科目・7教科8科目)	その他	小論文 面接	共 通 テスト	200	200 100	200	100 200	200	50					950
						教科・科目 に係る個別 テスト等							150		150		300
						計	200	200 100	200	100 200	200	50	150		150		1250

(注☆) 次の①②よりいずれかを選択。

- ①地歴・公民から2科目と理科から1科目（同一名称を含む科目（「公共、倫理」と「公共、政経」）の選択は不可。また、「地総／歴総／公共」を選択した場合、選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む他の科目の組合せの選択は不可。）
- ②地歴・公民から1科目と理科から2科目（同一名称科目（物基と物、化基と化、生基と生、地基と地学）の選択は不可。）

【注】下記の注意事項を必ずお読みください。

注意事項（地域資源創成学部）

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 1) 地歴・公民及び理科を2科目受験する場合は、解答順に「第1 解答科目」及び「第2解答科目」として取り扱います。
- 2) 地歴・公民、理科の受験科目を3科目と指定している場合において、指定科目数を超えて受験しているときは、『地歴・公民の第 1 解答科目』と『理科の第 1 解答科目』と『「地歴・公民の第2解答科目」、「理科の第2解答科目」のうち高得点の1 科目』を採用します。
- 3) 「外国語」において『英語』は、リーディング、リスニングの両方を必ず受験してください（大学入試センターからリスニングを免除された者を除く）。リーディングのみ受験した者（免除者を除く）及びリスニングのみ受験した者は英語を受験しなかった者として取り扱います。また、リーディング、リスニングの配点はそれぞれ 100 点とします。なお、リスニングを免除された者はリーディングの得点を 200 点に換算します。
- 4) 大学入学共通テストの成績は、令和9年度のものに限り利用します。

3. 教科・科目に係る個別テスト等（主体性評価）について

本学では、高等学校等から提出される調査書や志願者本人が記載する資料を用いて学力の3要素のうち主として「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（以下、主体性）」を評価します。

具体的には、面接を実施する選抜（教育学部、医学部及び地域資源創成学部後期日程）においては出願書類を面接の参考資料として主体性を評価します。面接を実施しない選抜（工学部、農学部及び地域資源創成学部前期日程）においては調査書等を点数化し（主体性評価）、大学入学共通テストの得点及び教科・科目に係る個別テスト等の得点と併せて合否判定します。

各学部における主体性評価の方針は次のとおりです。

なお、本学様式は11月下旬公表（予定）の学生募集要項に掲載します。

①工学部

工学部では、「主体性」は学校等での日常的な学びにあると考え、調査書の「3. 各教科の学習成績の状況」を利用して、前期日程では10点満点、後期日程では5点満点で評価します。

※調査書を提出できない者は、活動報告書（本学様式）を提出してください。

②農学部

農学科

農学科では、「主体性」は学校等での日常的な学びにあると考え、調査書の「3. 各教科の学習成績の状況」を利用して、前期日程、後期日程ともに10点満点で評価します。

※調査書を提出できない者は、活動報告書（本学様式）を提出してください。

獣医学科

獣医学科では「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を、アドミッション・ポリシーの「1. 求める学生像」のうち、「主体性」「協働性」「学問への関心」（以下主体性等）に関連する素養であると考えています。このことを踏まえて、学科で定めた評価基準に基づき、調査書の記述から主体性等を評価し、前期日程、後期日程ともに5点を加点します。

※調査書を提出できない者は、活動報告書（本学様式）を提出してください。

③地域資源創成学部（前期日程）

前期日程では、調査書及び自己申告書（本学様式）を10点満点で評価します。アドミッション・ポリシーに基づき、調査書等の記述を総合的に評価します。文章の量は関係ありません。

旧調査書を提出する既卒者や調査書を提出できない者についても同等の観点とする方針ですが、実情に合わせた措置により不利にならないよう配慮します。

また、自然災害や人為災害、感染症の全国的な感染拡大等により、長期にわたる臨時休業の実施や部活動等の諸活動が大幅に制限される場合においても、入学志願者が不利益を被ることのないよう配慮します。

4. 教科・科目に係る個別テスト等（英語）の免除について（工学部）

工学部の教科・科目に係る個別テスト（前期日程）において、下表のとおり、英語の資格・検定試験の一定以上のスコア（級）を取得している場合、英語の試験を免除し、英語を満点とします。

申請方法については、11月下旬公表（予定）の学生募集要項をご確認ください。

TOEIC® Listening & Reading Test	TOEFL		GTEC（4技能） ※オフィシャルスコアに限る	実用英語技能検定 （英検）
	Junior®	iBT®		
500	730	38	970	2級

5. 教科・科目に係る個別テスト等会場について

宮崎大学の教科・科目に係る個別テスト等会場については、宮崎大学試験場（全学部 前期日程・後期日程）及び横浜試験場（農学部・前期日程のみ）の2か所を設置します。

①宮崎大学試験場

1) 教育学部、工学部、農学部、地域資源創成学部

宮崎大学試験場：宮崎大学木花キャンパス（宮崎市学園木花台西1丁目1番地）

2) 医学部

宮崎大学試験場：宮崎大学清武キャンパス（宮崎市清武町木原5200番地）

②横浜試験場（農学部・前期日程のみ）

教科・科目に係る個別テスト等前期日程において、農学部（全学科）は上記①に加え、横浜市（神奈川県）にも設置します。

横浜試験場：河合塾横浜校（横浜市西区北幸2-11-6）

農学部に出願する者は、出願時に受験の希望地を選択することとなります。横浜試験場の希望者が収容人数を超えた場合、その超過した者は、宮崎大学試験場で受験することとなります。

なお、収容人数等の詳細については11月下旬発表（予定）の一般選抜学生募集要項にて公表します。

6. 2段階選抜について

医学部医学科（前期日程・後期日程）において、入学志願者が募集人員を大幅に上回り、教科・科目に係る個別テスト等を適切に行うことが困難な場合には第1段階選抜を行うことがあります。

第1段階選抜は大学入学共通テストの成績により行い、原則として前期日程については募集人員の約6倍、後期日程については募集人員の約1.4倍までを合格者とし、その合格者に対して教科・科目に係る個別テスト等を行います。

大学入学共通テストの利用教科・科目、配点等は学科の前期日程・後期日程に準じます。

7. 一般選抜（前期日程・後期日程）の入学試験問題について

本学のアドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」への参加大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。必ず使用するとは限りません（使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります）。

また、使用した過去問題については、入学試験終了後、受験者に分かるような形で公表します。

「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、下記のURLにて公表しています。

<https://www.nyushikakomon.jp/>

Ⅳ. 学校推薦型選抜

1. 各学部・学科課程（コース・専攻）の募集人員・出願要件・選抜方法等

区 分	学校推薦型選抜Ⅱ
学 部 ・ 学 科 等 名	教 育 学 部
	学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主免専攻
募 集 人 員	宮崎県教員希望枠 25人
出 願 要 件	1. 高等学校を令和7年4月から令和9年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 小学校教育に対する熱意を有し、教員としての適性があり、学習成績全体の評定平均値が4.0以上で、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者 3. 卒業後は、宮崎県の小学校の教員となることを希望している者 4. 合格した場合は入学することを確約できる者 5. 入学後、小中一貫教育コース小学校主免専攻宮崎県教員希望枠入学者に設定される教育プログラムを受講できる者 ※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストの成績、面接及び出願書類（推薦書、調査書及び志望理由書）の結果を総合して選抜します。
	○ 大学入学共通テストの利用教科・科目名 ・ 国（国語） ・ 数（「数Ⅰ」、「数Ⅰ，数A」から1）と（「数Ⅱ，数B，数C」）の2 ・ 外（英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1） [3教科4科目]
	※指定した教科・科目を受験していないことが判明した場合、合否判定の対象とはなりません。 ※大学入学共通テストについては、22ページの注意事項（教育学部）を必ず読んでください。 ※大学入学共通テストの成績は、令和9年度のものに限り利用します。
出 願 期 間	令和8年12月16日（水） ～ 12月18日（金）
選 抜 期 日	令和9年1月21日（木）・22日（金） ※いずれか1日、又は2日間の受験となります。 ※受験者数によっては、長時間にわたることもあります。
合 格 発 表 日	令和9年2月10日（水）
そ の 他	推薦人員は、各高等学校から8人以内とします。

区 分	学校推薦型選抜Ⅱ
学部・学科等名	教 育 学 部
	学校教育課程 小中一貫教育コース 中学校主免専攻
募 集 人 員	7人 ※選択できる教科は国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、家庭及び英語です。
出 願 要 件	1. 高等学校を令和7年4月から令和9年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 中学校及び小学校教育に対する熱意を有し、教員としての適性があり、学習成績全体の評定平均値が4.0以上で、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者 3. 出願時に選択した教科の教育に対する熱意を有する者 4. 合格した場合は入学することを確約できる者 5. 入学後は、出願時に選択した教科を専修とすることを確約できる者 ※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストの成績、面接及び出願書類（推薦書、調査書及び志望理由書）の結果を総合して選抜します。
	○ 大学入学共通テストの利用教科・科目名 ・ 国（国語） ・ 外（英（ <i>リニガ</i> ）を含む）、独、仏、中、韓から1） ・ 数（「数Ⅰ」、「数Ⅰ，数A」、「数Ⅱ，数B，数C」） ・ 地歴・公民（「地総，地探」、「歴総，日探」、「歴総，世探」、「公共，倫理」、「公共，政経」、（「地総／歴総／公共」から2）） ・ 理（物、化、生、地学、（物基／化基／生基／地基から2）） ・ 情（情Ⅰ） から1 [3教科3科目]
	※数学、地歴・公民、理科及び情報において、受験する科目のうち高得点の科目の成績を採用します。 ※地歴・公民及び理科を2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」として取り扱い、受験した科目のうち第1解答科目の成績を採用します。 ※指定した教科・科目（第1解答科目の指定を含む）を受験していないことが判明した場合、合否判定の対象とはなりません。 ※大学入学共通テストについては、22ページの注意事項（教育学部）を必ず読んでください。 ※大学入学共通テストの成績は、令和9年度のものに限り利用します。
出 願 期 間	令和8年12月16日（水） ～ 12月18日（金）
選 抜 期 日	令和9年1月21日（木） 又は 22日（金） ※受験者数によっては、長時間にわたることもあります。
合 格 発 表 日	令和9年2月10日（水）
そ の 他	推薦人員は、各高等学校から3人以内とします。

区 分	学校推薦型選抜Ⅰ
学部・学科等名	教 育 学 部
	学校教育課程 教職実践基礎コース
募 集 人 員	宮崎県教員希望枠 7人
出 願 要 件	1. 高等学校を令和7年4月から令和9年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 小学校教育に対する熱意を有し、教員としての適性があり、学習成績概評がA段階に属し、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者 3. 卒業後は、本学大学院教育学研究科に進学することを志望し、宮崎県の小学校の教員となることを希望している者 4. 合格した場合は入学することを確約できる者 ※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。
選 抜 方 法 等	面接、小論文及び出願書類（推薦書、調査書及び志望理由書）の結果を総合して選抜します。
出 願 期 間	令和8年11月2日（月） ～ 11月5日（木）
選 抜 期 日	令和8年11月18日（水） ※受験者数によっては、長時間にわたることもあります。
合 格 発 表 日	令和8年12月4日（金）
そ の 他	推薦人員は、各高等学校から3人以内とします。

区 分	学校推薦型選抜Ⅱ
学部・学科等名	教 育 学 部
	学校教育課程 発達支援教育コース 子ども理解専攻
募 集 人 員	3人
出 願 要 件	1. 高等学校を令和7年4月から令和9年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 小学校教育及び幼稚園教育に対する熱意を有し、教員としての適性があり、学習成績全体の評定平均値が4.0以上で、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合は入学することを確約できる者 ※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストの成績、面接及び出願書類（推薦書、調査書及び志望理由書）の結果を総合して選抜します。 ○ 大学入学共通テストの利用教科・科目名 ・国（国語） ・数（数Ⅰ，「数Ⅰ，数A」から1）と（数Ⅱ，数B，数C）の2 ・地歴・公民（「地総，地探」、「歴総，日探」、「歴総，世探」、「公共，倫理」、「公共，政経」、 （「地総／歴総／公共」から2）から1又は2） ・理（物、化、生、地学、（物基／化基／生基／地基から2）から1又は2） ・外（英(リソグ)を含む)、独、仏、中、韓から1) ・情（情Ⅰ） から3 (注☆) 〔6教科8科目又は7教科8科目〕
	(注☆) 次の①②よりいずれか選択 ①地歴・公民から2科目と理科から1科目（同一名称を含む科目（「公共，倫理」と「公共，政経」の選択は不可。また、「地総／歴総／公共」を選択した場合、選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む他の科目の組合せの選択は不可。） ②地歴・公民から1科目と理科から2科目（同一名称を含む科目「物基と物、化基と化、生基と生、地基と地学」の選択は不可。） ※大学入学共通テストについては、22ページの注意事項（教育学部）を必ず読んでください。 ※大学入学共通テストの成績は、令和9年度のものに限り利用します。
出 願 期 間	令和8年12月16日（水） ～ 12月18日（金）
選 抜 期 日	令和9年1月22日（金） ※受験者数によっては、長時間にわたることもあります。
合 格 発 表 日	令和9年2月10日（水）
そ の 他	推薦人員は、各高等学校から2人以内とします。

区 分	学校推薦型選抜Ⅰ
学部・学科等名	教 育 学 部
	学校教育課程 発達支援教育コース 特別支援教育専攻
募 集 人 員	3人
出 願 要 件	1. 高等学校を令和7年4月から令和9年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 特別支援学校教員になることに対する熱意を有し、特別支援学校教員としての適性があり、学習成績概評がA段階に属し、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合は入学することを確約できる者 ※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。
選 抜 方 法 等	面接、小論文及び出願書類（推薦書及び調査書）の結果を総合して選抜します。
出 願 期 間	令和8年11月2日（月） ～ 11月5日（木）
選 抜 期 日	令和8年11月18日（水） ※受験者数によっては、長時間にわたることもあります。
合 格 発 表 日	令和8年12月4日（金）
そ の 他	推薦人員は、各高等学校から2人以内とします。

区 分	学校推薦型選抜Ⅱ		
学 部 ・ 学 科 等 名	医 学 部		
	医 学 科		
募 集 人 員	地 域 枠 A	地 域 枠 B	地 域 枠 C
	10人	15人	15人
出 願 要 件	1. 【地域枠A】宮崎県内の高等学校を令和9年3月に卒業見込みの者 【地域枠B】宮崎県内の高等学校を令和7年3月以降に卒業の者又は令和9年3月に卒業見込みの者 【地域枠C】宮崎県を含めた全国の高等学校を令和7年3月以降に卒業の者又は令和9年3月に卒業見込みの者 2. 高等学校における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属し、医師として活躍し得る能力・適性を有する者で、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者 3. キャリア形成卒前支援プラン（入学時から卒業時まで）及びキャリア形成プログラム（卒業後）の適用を受けること。また、卒業後は、宮崎大学医学部附属病院又は県内の基幹型臨床研修病院において臨床研修プログラムに参加し、臨床研修修了後も引き続き宮崎の医療に従事するとともに、宮崎県が指定する県内の医療機関に一定期間勤務し、「キャリア形成プログラム」に参加することを約束できる者（出願時に「確約書」を提出すること。） 4. 合格した場合は入学することを確約できる者 5. 入学後は「宮崎県医師修学資金」の貸与を受ける者 ※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。		
選 抜 方 法 等	（第1次選考） 高等学校長の推薦書・調査書及び自己推薦書による書類審査、集団討論を総合して合格者（宮崎県の推薦者）を決定します。 （第2次選考） 第1次選考合格者（宮崎県の推薦者）を対象とし、面接を行い、第1次選考結果及び大学入学共通テストの成績を総合して合格者を決定します。なお、面接に際しては、筆記による面接資料の作成を課すことがあります。		
	○ 大学入学共通テストの利用教科・科目名 ・ 国（国語） ・ 地歴・公民（「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、「公共、倫理」、「公共、政経」、（「地総／歴総／公共」から2））から1 ・ 数（「数Ⅰ、数A」と（「数Ⅱ、数B、数C」）の2 ・ 理（物、化、生）から2 ・ 外（英（リスニングを含む）） ・ 情（情報Ⅰ） [6教科8科目]		
	※地歴・公民を2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」として取り扱い、受験した科目のうち第1解答科目の成績を採用します。 ※指定した教科・科目（第1解答科目の指定を含む）を受験していないことが判明した場合、合否判定の対象とはなりません。 ※大学入学共通テストについては、23ページの注意事項（医学部）を必ず読んでください。 ※大学入学共通テストの成績は、令和9年度のものに限り利用します。		

出 願 期 間	(第1次選考) 令和8年11月 2日(月) ～ 11月 4日(水) (第2次選考) 令和8年12月 2日(水) ～ 12月 4日(金)
選 抜 期 日	(第1次選考) 令和8年11月16日(月) (第2次選考) 令和8年12月16日(水)
合 格 発 表 日	(第1次選考) 令和8年11月27日(金) (第2次選考) 令和9年 2月10日(水)
そ の 他	推薦人員については、各高等学校からの制限はありません。

区 分	学校推薦型選抜Ⅱ
学 部 ・ 学 科 等 名	医 学 部
	看 護 学 科
募 集 人 員	25人
出 願 要 件	1. 高等学校を令和9年3月に卒業見込みの者 2. 高等学校における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属し、看護師・保健師として活躍し得る能力・適性を有する者で、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合は入学することを確約できる者 ※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。
選 抜 方 法 等	高等学校長の推薦書・調査書及び志望理由書による書類審査、小論文、面接、大学入学共通テストの成績を総合して合格者を決定します。
	○ 大学入学共通テストの利用教科・科目名 ・ 国（国語） ・ 数（数Ⅰ，数A）と（数Ⅱ，数B，数C）の2 ・ 外（英（リスニングを含む）） 〔3教科4科目〕
	※指定した教科・科目を受験していないことが判明した場合、合否判定の対象とはなりません。 ※大学入学共通テストについては、23ページの注意事項（医学部）を必ず読んでください。 ※大学入学共通テストの成績は、令和9年度のものに限り利用します。
出 願 期 間	令和8年11月2日（月） ～ 11月5日（木）
選 抜 期 日	令和8年11月24日（火）
合 格 発 表 日	令和9年 2月10日（水）
そ の 他	推薦人員については、各高等学校からの制限はありません。

区 分	学校推薦型選抜Ⅰ（宮崎県就職希望枠）			
学部・学科等名	工学部・工学科 化学生命プログラム・土木環境プログラム・半導体サイエンスプログラム 電気電子システムプログラム・機械知能プログラム・情報通信プログラム			
募 集 人 員	普通科区分※ ¹		専門学科※ ² ・総合学科区分	
	化 学 生 命 プ ロ グ ラ ム	3人	化 学 生 命 プ ロ グ ラ ム	2人
	土 木 環 境 プ ロ グ ラ ム	5人	土 木 環 境 プ ロ グ ラ ム	2人
	半導体サイエンスプログラム	2人	半導体サイエンスプログラム	2人
	電気電子システムプログラム	4人	電気電子システムプログラム	2人
	機 械 知 能 プ ロ グ ラ ム	3人	機 械 知 能 プ ロ グ ラ ム	3人
	情 報 通 信 プ ロ グ ラ ム	3人	情 報 通 信 プ ロ グ ラ ム	3人
出 願 要 件	次の各号に該当する者 （１）高等学校※³または専修学校の高等課程を令和８年４月から令和９年３月までに卒業・修了又は卒業・修了見込みの者 （２）志望するプログラムに対する熱意を有し、人物・能力・素質・適性等が優秀で、出身高等学校長等が責任を持って推薦できる者 （３）卒業後は、宮崎県内で就職し、工学人材として活躍する熱意を有する者 （４）合格した場合は入学を確約できる者 ※１ 普通科区分に出願できる者は、普通科及び普通科系専門学科のいわゆる職業教育を主とする学科以外の学科に在籍している者に限る。 ※２ 専門学科・総合学科区分に出願できる者は、工業高校・商業高校・農業高校等の専門教育を主とする学科（いわゆる職業教育を主とする学科）及び総合学科、または専修学校の高等課程のいずれかに在籍している者に限る。 ※３ 高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。			
選 抜 方 法	出願書類（推薦書・調査書及び志望理由書）、筆記試験（数学）、小論文及び面接の結果を総合して選抜します。なお、小論文は普通科区分と専門学科・総合学科区分で異なる出題内容とします。 ※「筆記試験（数学）」の出題範囲は「数学Ⅰ」及び「数学Ⅱ」とします。			
出 願 期 間	令和８年 11 月 2 日（月）～11 月 5 日（木）			
選 抜 期 日	令和８年 11 月 16 日（月）・17 日（火）※			
合 格 発 表 日	令和８年 12 月 4 日（金）			
そ の 他	推薦人員については、各高等学校からの制限はありません。 ※筆記試験及び小論文は 11 月 16 日（月）に、面接は 17 日（火）に実施します。			

区 分	学校推薦型選抜Ⅰ（女子枠）													
学部・学科等名	工学部・工学科 化学生命プログラム・土木環境プログラム・半導体サイエンスプログラム 電気電子システムプログラム・機械知能プログラム・情報通信プログラム													
募 集 人 員	<table><tr><td>化 学 生 命 プ ロ グ ラ ム</td><td>2人</td></tr><tr><td>土 木 環 境 プ ロ グ ラ ム</td><td>3人</td></tr><tr><td>半導体サイエンスプログラム</td><td>2人</td></tr><tr><td>電気電子システムプログラム</td><td>2人</td></tr><tr><td>機 械 知 能 プ ロ グ ラ ム</td><td>2人</td></tr><tr><td>情 報 通 信 プ ロ グ ラ ム</td><td>3人</td></tr></table>		化 学 生 命 プ ロ グ ラ ム	2人	土 木 環 境 プ ロ グ ラ ム	3人	半導体サイエンスプログラム	2人	電気電子システムプログラム	2人	機 械 知 能 プ ロ グ ラ ム	2人	情 報 通 信 プ ロ グ ラ ム	3人
化 学 生 命 プ ロ グ ラ ム	2人													
土 木 環 境 プ ロ グ ラ ム	3人													
半導体サイエンスプログラム	2人													
電気電子システムプログラム	2人													
機 械 知 能 プ ロ グ ラ ム	2人													
情 報 通 信 プ ロ グ ラ ム	3人													
出 願 要 件	次の各号に該当する女子 （１）高等学校※または専修学校の高等課程を令和8年 4 月から令和9年3月までに卒業・修了又は卒業・修了見込みの者 （２）志望するプログラムに対する熱意を有し、人物・能力・素質・適性等が優秀で、出身高等学校長等が責任を持って推薦できる者 （３）卒業後は工学人材として活躍する熱意を有する者 （４）合格した場合は入学を確約できる者 ※ 高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。													
選 抜 方 法 等	出願書類（推薦書・調査書及び志望理由書）、筆記試験（数学）、小論文及び面接の結果を総合して選抜します。なお、小論文は他の入試枠（宮崎県就職希望枠および一般枠）とは異なる出題内容とします。 ※「筆記試験（数学）」の出題範囲は「数学Ⅰ」及び「数学Ⅱ」とします。													
出 願 期 間	令和8年 11 月2日（月）～11 月5日（木）													
選 抜 期 日	令和8年 11 月 16 日（月）・17 日（火）※													
合 格 発 表 日	令和8年 12 月4日（金）													
そ の 他	推薦人員については、各高等学校からの制限はありません。 ※筆記試験及び小論文は 11 月 16 日（月）に、面接は 17 日（火）に実施します。													

区 分	学校推薦型選抜Ⅰ（一般枠）													
学部・学科等名	工学部・工学科 化学生命プログラム・土木環境プログラム・半導体サイエンスプログラム 電気電子システムプログラム・機械知能プログラム・情報通信プログラム													
募 集 人 員	<table><tr><td>化 学 生 命 プ ロ グ ラ ム</td><td>2人</td></tr><tr><td>土 木 環 境 プ ロ グ ラ ム</td><td>3人</td></tr><tr><td>半導体サイエンスプログラム</td><td>3人</td></tr><tr><td>電気電子システムプログラム</td><td>2人</td></tr><tr><td>機 械 知 能 プ ロ グ ラ ム</td><td>4人</td></tr><tr><td>情 報 通 信 プ ロ グ ラ ム</td><td>3人</td></tr></table>		化 学 生 命 プ ロ グ ラ ム	2人	土 木 環 境 プ ロ グ ラ ム	3人	半導体サイエンスプログラム	3人	電気電子システムプログラム	2人	機 械 知 能 プ ロ グ ラ ム	4人	情 報 通 信 プ ロ グ ラ ム	3人
化 学 生 命 プ ロ グ ラ ム	2人													
土 木 環 境 プ ロ グ ラ ム	3人													
半導体サイエンスプログラム	3人													
電気電子システムプログラム	2人													
機 械 知 能 プ ロ グ ラ ム	4人													
情 報 通 信 プ ロ グ ラ ム	3人													
出 願 要 件	次の各号に該当する者 （１）高等学校*または専修学校の高等課程を令和8年4月から令和9年3月までに卒業・修了又は卒業・修了見込みの者 （２）志望するプログラムに対する熱意を有し、人物・能力・素質・適性等が優秀で、出身高等学校長等が責任を持って推薦できる者 （３）卒業後は工学人材として活躍する熱意を有する者 （４）合格した場合は入学を確約できる者 ※ 高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。													
選 抜 方 法 等	出願書類（推薦書・調査書及び志望理由書）、筆記試験（数学）、小論文及び面接の結果を総合して選抜します。なお、小論文は他の入試枠（宮崎県就職希望枠および女子枠）とは異なる出題内容とします。 ※「筆記試験（数学）」の出題範囲は「数学Ⅰ」及び「数学Ⅱ」とします。													
出 願 期 間	令和8年11月2日（月）～11月5日（木）													
選 抜 期 日	令和8年11月16日（月）・17日（火）※													
合 格 発 表 日	令和8年12月4日（金）													
そ の 他	推薦人員については、各高等学校からの制限はありません。 ※筆記試験及び小論文は11月16日（月）に、面接は17日（火）に実施します。													

区 分	学校推薦型選抜Ⅰ				
学部・学科等名	農学部・農学科 動植物資源生命科学コース、森林環境持続性科学コース、海洋生命科学コース				
募 集 人 員	専門学科等区分※ ¹			普通科区分※ ²	
	動植物資源 生命科学コース	7 人	畜産 4 人	動植物資源生命科学コース	8 人
			農業 3 人		
	海洋生命科学コース		2 人		
	区分なし※ ³				
	森林環境持続性科学コース		7 人		
出 願 要 件	次の各号に該当する者 （１）高等学校※ ⁴ を令和８年４月から令和９年３月までに卒業又は卒業見込みの者 （２）学習成績概評がＡ段階に属する人のうち人物・能力・素質・適性等が特に優秀で 出身高等学校長が責任を持って推薦できる者 （３）合格した場合は入学することを確約できる者				
	※１ 専門学科等区分に出願できる者は、以下の要件に該当する者に限る。				
	動植物資源生命科学 コース	農業高校等の専門教育を主とする学科及び総合学科で 農業に関する科目を 25 単位以上履修（見込みを含む） した者。			
	海洋生命科学コース	高等学校の水産系、海洋系、総合系あるいはこれらに準 ずる学科で水産・海洋系の科目を 25 単位以上履修（見 込みを含む）した者。			
	※２ 普通科区分に出願できる者は、普通科及び普通科系専門学科のいわゆる職業教育 を主とする学科以外の学科に在籍している者に限る。				
	※３ 森林環境持続性科学コースでは専門学科等及び普通科による区分を設けません。出 願できる者は普通科、総合学科、農林業及び工業（情報系、土木系）に関連のある 学科に在籍している者としてします。				
	※４ 高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の 課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教 育施設の当該課程を含みます。				
選抜方法等	面接及び出願書類（調査書、推薦書及び志望理由書）の結果を総合して選抜します。 なお、面接には高等学校等で学習した内容についての基礎的な口頭試問を含みます。				

出 願 期 間	令和8年 11 月2日（月）～11 月5日（木）
選 抜 期 日	令和8年 11 月 16 日（月）・17 日（火） ※志願者数によっては、1 日目で終了する場合があります。
合格発表日	令和8年 12 月4日（金）
そ の 他	・動植物資源生命科学コースの推薦人員は、各高等学校から専門学科等区分の「畜産」、「農業」にそれぞれ3人以内、普通科区分に3人以内とする。 ・森林環境持続性科学コースの推薦人員は、各高等学校の対象となる学科から3人以内とする。 ・海洋生命科学コースの推薦人員は、各高等学校からの制限はありません。

区 分	学校推薦型選抜Ⅱ（地域枠）
学部・学科等名	農学部・獣医学科
募集人員	若干人（上限2名）
出願要件	次の各号に該当する者 (1) 全国の高等学校を令和7年4月以降に卒業の者又は令和9年3月に卒業見込みの者 (2) 学業・人物共に優れ、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者 (3) 宮崎県の獣医師確保を目的とした修学資金給付事業の推薦を受けた者 (4) 合格した場合は入学を確約できる者 (5) 卒業後、宮崎県職員の獣医師として勤務する強い意思のある者 ※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。
選抜方法等	大学入学共通テストの成績及び面接の結果を総合して選抜します。 出願書類（調査書、推薦書、志望理由書）は選抜の際の参考資料とします。 面接では志望動機、勉学意欲、質問に対する理解力、表現力等を評価・採点するとともに卒業後、宮崎県職員の獣医師として勤務する強い意思があるか確認し、獣医学科への適性を見ます。 ○大学入学共通テストの利用教科・科目名 ・国（国語） ・地歴・公民（「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、「公共、倫理」、「公共、政経」、 （「地総／歴総／公共」から2）） ・数（「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」の2） ・理（物、化、生から2） ・外（英（リスニングを含む）） ・情（情報Ⅰ） } から1 〔6教科8科目〕 ※地理歴史・公民を2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」として取り扱い、受験した科目のうち第1解答科目の成績を採用します。 ※指定した教科・科目（第1解答科目の指定を含む）を受験していないことが判明した場合、合否判定の対象とはなりません。 ※大学入学共通テストの外国語（英語）において、リーディング、リスニングの配点はそれぞれ140点、60点とします。 ※大学入学共通テストの成績は、令和9年度のものに限り利用します。

出願期間	令和8年12月2日（水）～12月4日（金）
選抜期日	令和8年12月16日（水）
合格発表日	令和9年2月10日（水）
その他	(1) 推薦人員については、各高等学校からの制限はありません。 (2) 他大学の獣医学科等が実施する地域枠入試との併願は認めません。 (3) 本学及び他大学の学校推薦型選抜との併願は認めません。

区 分	学校推薦型選抜Ⅰ
学部・学科等名	地 域 資 源 創 成 学 部
	地 域 資 源 創 成 学 科
募 集 人 員	25人
出 願 要 件	1. 高等学校を令和7年4月から令和9年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 学習成績全体の評定平均値が4.0以上に属する者のうち人物・能力・素質・適性等が特に優秀で、出身高等学校長が責任をもって推薦できる者 3. 合格した場合は入学することを確約できる者 ※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。
選 抜 方 法 等	小論文※、面接及び出願書類（調査書、推薦書及び志望理由書）の結果を総合して選抜します。 ※小論文では漢字の書き取りや英文読解、計算を必要とする問い等を含む場合があります。
出 願 期 間	令和8年11月2日（月） ～ 11月5日（木）
選 抜 期 日	令和8年11月21日（土）
合 格 発 表 日	令和8年12月4日（金）
そ の 他	1. 推薦人員は、各高等学校等から5人以内とします。 2. 上記出願要件に疑問がある場合は、志願者の履修課程表を添えて文書で地域資源創成学部教務・学生支援係に照会してください。（出願期間以前でも可） 照会先：〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地 宮崎大学地域資源創成学部教務・学生支援係 電話（0985）58-7847

2. 各学部・学科課程（コース・専攻）の配点

学部・学科等名		Ⅰ・Ⅱ	大学入学共通テスト						書類 審査	面接	小論文	筆記 試験	合計
			国語	地歴 公民	数学	理科	外国語 ※1	情報					
教育学部・学校教育課程	小中一貫教育コース 小学校主専攻	Ⅱ	200	－	200	－	200	－	300		－	－	900
	小中一貫教育コース 中学校主専攻	Ⅱ	200	200 ※2	200 ※2	200 ※2	200	200 ※2	300		－	－	900
	教職実践基礎コース	Ⅰ	課さない						※6	120	80	－	200
	発達支援教育コース 子ども理解専攻	Ⅱ	200	200 100	200	100 200	200	100	400		－	－	1400
	発達支援教育コース 特別支援教育専攻	Ⅰ	課さない						※6	140	60	－	200
医学部	医学科	Ⅱ	200	100	200	200	200	100	※4	※3	－	－	1000
	看護学科	Ⅱ	200	－	200	－	200	－	※4	100	100	－	800
工学部	工学科 化学生命プログラム	Ⅰ	課さない						100	180 ※7	120	100	500
	工学科 土木環境プログラム	Ⅰ	課さない						100	200 ※7	100	100	500
	工学科 半導体サイエンスプログラム	Ⅰ	課さない						100	200 ※7	100	100	500
	工学科 電気電子システムプログラム	Ⅰ	課さない						100	200 ※7	100	100	500
	工学科 機械知能プログラム	Ⅰ	課さない						100	250 ※7	50	100	500
	工学科 情報通信プログラム	Ⅰ	課さない						100	100 ※7	100	200	500
農学部	農学科 動植物資源生命科学コース	Ⅰ	課さない						100	300	－	－	400
	農学科 森林環境持続性科学コース	Ⅰ	課さない						100	300	－	－	400
	農学科 海洋生命科学コース	Ⅰ	課さない						100	300	－	－	400
	獣医学科	Ⅱ	200	100	200	200	200	100	※5	※3	－	－	1000
創地域学資源部	地域資源創成学科	Ⅰ	課さない						※6	150	150	－	300

※1 大学入学共通テストの外国語において、英語を選択した場合、リーディング、リスニングの両方を必ず受験してください（大学入試センターからリスニングを免除された者を除く）。リーディングのみ受験した者（免除者を除く）及びリスニングのみ受験した者は英語を受験しなかった者として取り扱います。

また、リーディング、リスニングの配点は、農学部獣医学科地域枠ではそれぞれ140点、60点、その他の学部・学科ではそれぞれ160点、40点とします。

なお、リスニングを免除された者はリーディングの得点を200点に換算します。

※2 地歴・公民、数学、理科及び情報において、受験する科目のうち高得点の科目の成績を採用します。詳細は30ページを参照してください。

※3 面接の評価が合格判定基準を満たさない場合は不合格とします。

※4 可否判定の重要な資料とします。

※5 選抜の際の参考資料とします。

※6 面接において利用します。

※7 面接において、工学部のアドミッション・ポリシーに適合しないと判断した場合には不合格となることがあります。

V. 総合型選抜

各学部・学科課程（コース・専攻）の募集人員・出願要件・選抜方法等

区 分	総合型選抜Ⅰ
学部・学科等名	教 育 学 部
	学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主免専攻
募 集 人 員	宮崎県教員希望枠 5人
出 願 要 件	1. 次のア.～ウ.のいずれかに該当する者 ア. 高等学校を令和7年4月から令和9年3月までに卒業又は卒業見込みの者 イ. 通常の課程による12年の学校教育を令和7年4月から令和9年3月までに修了した者及び修了見込みの者 ウ. 令和7年4月から令和9年3月までに学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及びにこれに該当する見込みの者 2. 小学校教育に対する熱意を有する者 3. 卒業後は、宮崎県の小学校教員となることを希望している者 4. 合格した場合は入学することを確約できる者 5. 入学後、小中一貫教育コース小学校主免専攻宮崎県教員希望枠入学者に設定される教育プログラムを受講できる者 ※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。
選 抜 方 法 等	（第1次選考） 書類審査（出願書類：調査書、自己推薦書、志望理由書、課題探究型学習に関する調書及びプレゼンテーション資料）により選抜します。 （第2次選考） 小論文（英文読解を含む場合があり、書籍の英和辞書の持ち込みを可とします）、面接、課題探究型学習に関する口頭試問（プレゼンテーションを含む）及び第1次選考の結果を総合して選抜します。
出 願 期 間	令和8年9月24日（木） ～ 9月28日（月）
選 抜 期 日	（第2次選考）令和8年11月21日（土）・22日（日） ※志願者数によっては、1日目で終了する場合があります。
合 格 発 表 日	（第1次選考） 令和8年11月2日（月） （最 終） 令和8年12月4日（金）

<配点>

	書類審査	面接	課題探究型学習に関する口頭試問		小論文	合 計
第1次選考	300					300
第2次選考		300	プレゼンテーション	質疑応答	200	900
			100	300		
計						1200

区 分	総合型選抜Ⅰ
学部・学科等名	教 育 学 部
	学校教育課程 小中一貫教育コース 中学校主免専攻
募 集 人 員	8人 ※選択できる教科：音楽・美術・保健体育 ※募集人員は選択できる3教科全体で8人ですが、原則として「音楽」2人、「美術」2人、「保健体育」4人とします。
出 願 要 件	1. 次のア.～ウ.のいずれかに該当する者 ア. 高等学校を令和9年3月までに卒業又は卒業見込みの者 イ. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者 ウ. 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者 2. 中学校及び小学校教育に対する熱意を有する者 3. 選択した教科の教育に対する熱意を有する者 4. 合格した場合は入学することを確約できる者 5. 入学後は、出願時に選択した教科を専修とすることを確約できる者 ※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。
選 抜 方 法 等	(第1次選考) 面接・書類審査(出願書類：調査書、自己推薦書、志望理由書、実技・活動等に関する調書)、各教科の定める個別審査(49ページ参照)により選抜します。 なお、第2次選考に向けて課題を課す場合があります。 (第2次選考) 面接(プレゼンテーション・実技等を含む場合があります)、小論文(英文読解を含む場合があります、書籍の英和辞書の持ち込みを可とします)及び第1次選考の結果を総合して選抜します。 ※第1次選考時に課した課題は、面接の基礎資料とします。
出 願 期 間	令和8年9月24日(木) ～ 9月28日(月)
選 抜 期 日	(第1次選考) 令和8年10月17日(土)・18日(日)※ (第2次選考) 令和8年11月21日(土)・22日(日)※ ※いずれの選考も志願者数によっては、1日目で終了する場合があります。
合 格 発 表 日	(第1次選考) 令和8年11月2日(月) (最 終) 令和8年12月4日(金)

＜各教科の定める個別審査等の内容＞

教科名	個別審査の内容
音楽	実技（ピアノ、声楽又は管弦打楽器から選択）
美術	実技（鉛筆デッサン、紙工作を含む）
保健体育	実技（陸上競技、器械運動、サッカー、バスケットボール、ハンドボール、バレーボール、柔道の中から当日こちらが指定するもの）

＜配点＞

	書類審査	面接①	面接②	各教科の定める 個別審査	小論文	合 計
第1次選考	200			400		600
第2次選考			200		400	600
計						1200

区 分	総合型選抜Ⅰ					
学部・学科等名	工 学 部 工 学 科					
	化 学 生 命 プログラム	土 木 環 境 プログラム	半導体サイエンス プログラム	電気電子システム プログラム	機 械 知 能 プログラム	情 報 通 信 プログラム
募 集 人 員	2	2	2	2	2	2
出 願 要 件	1. 高等学校を令和8年4月から令和9年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 志望プログラムに対する熱意を有する者 3. 合格した場合は入学することを確約できる者 ※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。					
選 抜 方 法 等	(第1次選考) 自己推薦書、調査書及び活動報告書により選考を行います。 第1次選考の合格者の上限は、各プログラムとも募集人員の4倍程度とします。					
	(第2次選考)					
	プログラム		検査項目			
	化学生命プログラム		筆記試験（数学）、小論文、個人面接（口頭試問を含む）			
	土木環境プログラム		筆記試験（数学）、個人面接			
	半導体サイエンスプログラム		筆記試験（数学）、個人面接			
	電気電子システムプログラム		筆記試験（数学）、小論文、個人面接			
	機械知能プログラム		筆記試験（数学）、個人面接（口頭試問を含む）			
	情報通信プログラム		筆記試験（数学）、個人面接			
第1次選考と第2次選考の結果を総合して選抜します。						
出 願 期 間	令和8年9月24日（木）～9月28日（月）					
選 抜 期 日	（第2次選考）		令和8年11月16日（月）			
合 格 発 表 日	（第1次選考）		令和8年10月 20日（火）			
	（第2次選考）		令和8年12月 4日（金）			

<配点>

第1次選考

プログラム	書類審査	筆記試験	小論文	面接	合 計
化学生命プログラム	100	—	—	—	100
土木環境プログラム	100	—	—	—	100
半導体サイエンスプログラム	100	—	—	—	100
電気電子システムプログラム	100	—	—	—	100
機械知能プログラム	100	—	—	—	100
情報通信プログラム	100	—	—	—	100

第2次選考

プログラム	書類審査	筆記試験	小論文	面接	合 計
化学生命プログラム	100	100	60	240 ※	500
土木環境プログラム	100	200	—	200 ※	500
半導体サイエンスプログラム	100	200	—	200 ※	500
電気電子システムプログラム	100	100	100	200 ※	500
機械知能プログラム	100	100	—	300 ※	500
情報通信プログラム	100	200	—	200 ※	500

※面接において、工学部のアドミッション・ポリシーに適合しないと判断した場合には不合格となる場合があります。

区 分	総合型選抜Ⅰ
学部・学科等名	農学部・農学科 動植物資源生命科学コース
募 集 人 員	8人
出 願 要 件	次の各号に該当する者 (1) 高等学校を令和7年4月から令和9年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 志望コースの教育研究内容に対する熱意を有する者 (3) 合格した場合は入学を確約できる者 ※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。
選抜方法等	(第1次選考) 調査書、自己推薦書、活動報告書により選考を行います。 第1次選考の合格者の上限は、募集人員の3倍程度とします。 (第2次選考) 第1次選考に合格した者に対して、模擬講義等の受講と、それにもとづくレポート作成及び個人面接を課します。 なお、面接には高等学校等で学習した内容についての基礎的な口頭試問を含みます。 上記第2次選考検査項目の結果と第1次選考結果を総合して選抜します。
出願期間	令和8年9月1日(火)～9月3日(木)
選抜期日	(第2次選考) 令和8年9月28日(月)・29日(火)
合格発表日	(第1次選考) 令和8年9月11日(金) (第2次選考) 令和8年11月2日(月)

<配点>

	書類審査 (調査書・自己推薦書・活動報告書)	模擬講義等の受講 及びレポート作成	個人面接	合計
第1次選考	100			100
第2次選考	10	50	40	100

※第2次選考の書類審査は、第1次選考の書類審査100点を10点に圧縮します。

区 分	総合型選抜Ⅰ
学部・学科等名	農学部・農学科 森林環境持続性科学コース
募 集 人 員	3人
出 願 要 件	次の各号に該当する者 (1) 高等学校を令和7年4月から令和9年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 志望コースの教育研究内容に対する熱意を有する者 (3) 合格した場合は入学を確約できる者 ※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。
選抜方法等	(第1次選考) 調査書、自己推薦書、活動報告書により選考を行います。 第1次選考の合格者の上限は、募集人員の3倍程度とします。 (第2次選考) 第1次選考に合格した者に対して、模擬講義等の受講と、それにもとづくレポート作成及び個人面接を課します。 上記第2次選考検査項目の結果と第1次選考結果を総合して選抜します。
出願期間	令和8年9月1日(火)～9月3日(木)
選抜期日	(第2次選考) 令和8年9月28日(月)・29日(火)
合格発表日	(第1次選考) 令和8年9月11日(金) (第2次選考) 令和8年11月2日(月)

<配点>

	書類審査			模擬講義等の 受講及びレポ ート作成	個人面接	合計
	調査書	自己推薦書	活動報告書			
第1次選考	20	50	30			100
第2次選考	10			50	40	100

※第2次選考の書類審査は、第1次選考の書類審査100点を10点に圧縮します。

区 分	総合型選抜Ⅰ
学部・学科等名	農学部・農学科 海洋生命科学コース
募 集 人 員	4人
出 願 要 件	次の各号に該当する者 (1) 高等学校の普通科（あるいはこれに準ずる学科）を令和7年4月から令和9年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 志望コースの教育研究内容に対する熱意を有する者 (3) 合格した場合は入学を確約できる者 ※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。
選抜方法等	(第1次選考) 調査書、自己推薦書、活動報告書により選考を行います。 第1次選考の合格者の上限は、募集人員の3倍程度とします。 (第2次選考) 第1次選考に合格した者に対して、模擬講義等の受講と、それにもとづくレポート作成及び個人面接を課します。 上記第2次選考検査項目の結果と第1次選考結果を総合して選抜します。
出願期間	令和8年9月1日（火）～ 9月3日（木）
選抜期日	（第2次選考）令和8年9月28日（月）・29日（火）
合格発表日	（第1次選考）令和8年9月11日（金） （第2次選考）令和8年11月2日（月）

<配点>

	書類審査			模擬講義等の 受講及びレポ ート作成	個人面接	合計
	調査書	自己推薦書	活動報告書			
第1次選考	20	50	30			100
第2次選考	10			50	40	100

※第2次選考の書類審査は、第1次選考の書類審査100点を10点に圧縮します。

区 分	総合型選抜Ⅰ
学部・学科等名	農学部・農学科 応用生命化学コース
募 集 人 員	10人
出 願 要 件	次の各号に該当する者 (1) 高等学校の普通科、総合学科、農林水産業（食品関係も含む）及び工業（生物工学系）に関連のある学科を令和7年4月から令和9年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 志望コースの教育研究内容に対する熱意を有する者 (3) 合格した場合は入学を確約できる者 ※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。
選抜方法等	(第1次選考) 調査書、自己推薦書、活動報告書により選考を行います。 第1次選考の合格者の上限は、募集人員の3倍程度とします。 (第2次選考) 第1次選考に合格した者に対して、筆記試験及び個人面接を課します。 筆記試験は化学（化学基礎を含む）と英語を課します。ただし、化学は「高分子化合物」を出題範囲から除外します。また、英検2級以上、あるいはGTEC（4技能）オフィシャルスコア930点以上を有する者は、英語の筆記試験を免除し、満点とします。 上記第2次選考検査項目の結果と第1次選考結果を総合して選抜します。
出願期間	令和8年9月1日（火）～ 9月3日（木）
選抜期日	（第2次選考）令和8年9月28日（月）・29日（火）
合格発表日	（第1次選考）令和8年9月11日（金） （第2次選考）令和8年11月2日（月）

<配点>

	書類審査		筆記試験	個人面接	合計
	調査書・活動報告書	自己推薦書			
第1次選考	60	40			100
第2次選考	50		150	100	300

区 分	総合型選抜Ⅱ										
学部・学科等名	農学部・農学科 動植物資源生命科学コース、森林環境持続性科学コース、 海洋生命科学コース、応用生命化学コース										
募 集 人 員	<table><tr><td>動植物資源生命科学コース</td><td>12 人</td></tr><tr><td>森林環境持続性科学コース</td><td>5 人</td></tr><tr><td>海洋生命科学コース</td><td>14 人</td></tr><tr><td>応用生命化学コース</td><td>3 人</td></tr></table>			動植物資源生命科学コース	12 人	森林環境持続性科学コース	5 人	海洋生命科学コース	14 人	応用生命化学コース	3 人
動植物資源生命科学コース	12 人										
森林環境持続性科学コース	5 人										
海洋生命科学コース	14 人										
応用生命化学コース	3 人										
出 願 要 件	次の(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ(4)(5)に該当する者 (1)高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者 (2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者 (3)学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (4)志望コースの教育研究内容に対する熱意を有する者 (5)合格した場合は入学を確約できる者 ※ 上記(3)に該当する者のうち、学校教育法施行規則第150条第7号の規定により個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者には入学資格を認めます。										
選抜方法等	大学入学共通テストの成績及び出願書類（調査書、自己推薦書、活動報告書）の結果を総合して選抜します。 ○大学入学共通テストの利用教科・科目名 〈動植物資源生命科学コース〉 ・国（国語） ・数（「数Ⅰ，数A」と（「数Ⅱ，数B，数C」）の2 ・理（物、化、生から1） ・外（英（リスニングを含む）） ・情（情報Ⅰ） 〔5教科6科目〕 〈森林環境持続性科学コース、海洋生命科学コース〉 ・数（「数Ⅰ，数A」と（「数Ⅱ，数B，数C」）の2 ・理（物、化、生から1） ・外（英（リスニングを含む）） 〔3教科4科目〕										

	〈応用生命化学コース〉 ・国（国語） ・地歴・公民（「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、「公共、倫理」、「公共、政経」、（「地総／歴総／公共」から2） ・数（「数Ⅰ、数A」と（「数Ⅱ、数B、数C」）の2 ・理（化） ・外（英（リスニングを含む）） ・情（情報Ⅰ） } から1 〔6教科7科目〕 ※地歴・公民を2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」として取り扱い、受験した科目のうち第1解答科目の成績を採用します。 ※理科を2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」として取り扱い、受験した科目のうち第1解答科目の成績を採用します。なお、<u>応用生命化学コースにおいては、化学を第1解答科目として受験してください。</u> ※指定した教科・科目（第1解答科目の指定を含む）を受験していないことが判明した場合、合否判定の対象とはなりません。 ※大学入学共通テストの成績は、令和9年度のものに限り利用します。
出 願 期 間	令和9年1月20日（水）～1月26日（火）
選 抜 期 日	書類選考
合格発表日	令和9年2月10日（水）

＜配点＞

	大学入学共通テスト						書類審査 （調査書・自己推薦書・ 活動報告書）	合計
	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	情報		
動植物資源生命科学コース	100	-	200	200	200	100	100	900
森林環境持続性科学コース	-	-	200	200	200	-	100	700
海洋生命科学コース	-	-	200	200	200	-	50	650
応用生命化学コース	100	50	200	200	200	50	150	950

大学入学共通テストの外国語（英語）は、リーディング、リスニングの両方を必ず受験してください（大学入試センターからリスニングを免除された者を除く）。リーディングのみ受験した者（免除者を除く）及びリスニングのみ受験した者は英語を受験しなかった者として取り扱います。また、リーディング、リスニングの配点はそれぞれ150点、50点とします。なお、リスニングを免除された者は、リーディングの得点を200点に換算します。

VI. その他の選抜

本学では、「帰国生徒選抜」、「社会人選抜」及び「私費外国人留学生選抜」は、総合型選抜として位置付けていますが、本要項では識別を容易にするため、「その他の選抜」として区分しています。

1. 帰国生徒選抜

学 部 ・ 学 科 等 名	農 学 部
	農学科 動植物資源生命科学コース 森林環境持続性科学コース 海洋生命科学コース 応用生命化学コース
募 集 人 員	若 干 人
出 願 要 件	日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者であって、外国の学校教育を受けた者で、次の各号のいずれかに該当する者。 1. 学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を外国又は日本において、令和7年4月1日から令和9年3月31日までに卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者で、卒業（修了）時点から起算して過去4年間の内、外国において2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者 注）外国に設置されたものであっても日本の学校教育に準拠した教育を実施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けた者とはみなしません。 2. 外国において、国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格、国際Aレベル資格、欧州バカロレア資格のいずれかを令和7年又は令和8年に授与された者 3. 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS）の認定を受けた外国に所在する教育施設に置かれる12年の課程を令和7年4月1日から令和9年3月31日までに卒業（修了）した者又卒業（修了）見込みの者で、卒業（修了）時点から起算して過去4年間の内、外国において2年以上継続して学校教育を受けている者
選 抜 方 法	面接、小論文及び出願書類の結果を総合して選抜します。
出 願 期 間	令和8年11月2日（月） ～ 11月5日（木）
選 抜 期 日	令和8年11月17日（火）
合 格 発 表 日	令和8年12月4日（金）
そ の 他	詳細については、9月下旬公表（予定）の学生募集要項を参照してください。

2. 社会人選抜

学 部 ・ 学 科 等 名	農 学 部
	農学科 動植物資源生命科学コース 森林環境持続性科学コース 海洋生命科学コース 応用生命化学コース
募 集 人 員	若 干 人
出 願 要 件	令和9年4月1日現在で、次の1から3のいずれかに該当する者のうち、社会人経験を5年以上【注を参照】有する年齢23歳以上の者 1. 高等学校を卒業した者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者 3. その他、学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者 ※ 上記3に該当する者のうち、本学の個別の入学資格審査により入学資格の認定を受けようとする者は、宮崎大学学び・学生支援機構入試課にお問い合わせください。 なお、詳細は本学ホームページにも掲載してありますので、ご参照ください。 【URL】 https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/require.html 【注】（1）就業しながら、定時制又は通信制の高等学校（大学の夜間部を含む）に在学した期間は、社会人の経験に含めます。 （2）家事・家業・パート等の従事期間も社会人経験に含めます。
選 抜 方 法 等	面接及び出願書類の結果を総合して選抜します。
出 願 期 間	令和8年11月2日（月） ～ 11月5日（木）
選 抜 期 日	令和8年11月17日（火）
合 格 発 表 日	令和8年12月4日（金）
そ の 他	詳細については、9月下旬公表(予定)の学生募集要項を参照してください。

3. 私費外国人留学生選抜

学 部 ・ 学 科 等 名	工学部 工学科 化学生命プログラム 土木環境プログラム 半導体サイエンスプログラム 電気電子システムプログラム 機械知能プログラム 情報通信プログラム	農 学 部 農学科 動植物資源生命科学コース 森林環境持続性科学コース 海洋生命科学コース 応用生命化学コース 獣医学科	地域資源創成学部 地域資源創成学科
募 集 人 員	若 干 人		
出 願 要 件	独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験において、61ページの＜別表＞に示す各学部・学科等が指定する教科・科目を受験した者で、次の①から⑤まですべてに該当する者 ① 日本の国籍を有しない者、かつ日本国の永住許可を得ていない者 ② 次のいずれかに該当する者 ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（令和9年（2027年）3月修了見込みの者を含む。）又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者 イ 国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格、国際Aレベル資格、欧州バカロレア資格のいずれかを有する者 ウ 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS）の認定を受けた外国に所在する教育施設に置かれる12年の課程を修了した者（令和9年（2027年）3月までに修了見込みの者を含む。） ③ 出入国管理及び難民認定法に基づく大学入学に支障のない在留資格を有する者又は取得できる見込みの者 ④ 農学部（農学科応用生命化学コースを除く）については、出願以前2年以内にTOEFLを受験している者 ⑤ 地域資源創成学部については、日本留学試験を受験した者で、「日本語聴読解」と「日本語読解」の合計点数が300点以上の者 【注意】日本の国籍を有しない者であっても日本の高等学校又は中等教育学校の3年間の教育課程を履修し、かつ卒業した者（令和9年（2027年）3月卒業見込みの者を含む。）については、この私費外国人留学生選抜には出願できません。		
選 抜 方 法	入学者の選抜は、61ページの＜別表＞に示す独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験の成績並びに本学が行う学力試験等（日本語による小論文、面接等）の成績、TOEFLの成績（農学部（応用生命化学コースを除く）のみ）及び最終出身学校の各成績の結果を総合して選抜します。		
出 願 期 間	令和8年（2026年）11月2日（月） ～ 11月5日（木）		
選 抜 期 日	工学部	:	令和8年（2026年）11月16日（月）
	農学部	:	令和8年（2026年）11月17日（火）
	地域資源創成学部	:	令和8年（2026年）11月21日（土）
合 格 発 表 日	令和8年（2026年）12月4日（金）		
そ の 他	選抜方法等の詳細な内容は、9月下旬公表（予定）の学生募集要項を参照してください。		

＜別表＞「日本留学試験」出題教科・科目及び本学が行う学力試験等

理系：日本語、理科、数学を受験してください。

文系：日本語、総合科目、数学を受験してください。

学部	学 科 等	日 本 留 学 試 験			本 学 が 行 う 学 力 試 験 等
		利用 「試験日」 ※1	利用「教科・科目」	出題言語の指定 (日本語以外の科目)	
工学部	工学科 化学生命プログラム 土木環境プログラム 半導体サイエンスプログラム 電気電子システムプログラム 機械知能プログラム 情報通信プログラム	2025年度	①理系を受験すること ②理科の科目選択は指定しない ③数学はコース2を受験すること	出題言語を指定しない	小論文(日本語)、面接
	農学科 海洋生命科学コース ※2 応用生命化学コース	第2回 又は	①理系を受験すること ②理科の科目選択は指定しない	出題言語を指定する 「日本語によって出題されたものを受験すること」	小論文(日本語)、面接
農学部	農学科 動植物資源生命科学コース ※2 森林環境持続性科学コース ※2 獣医学科 ※2	2026年度 第1回	③数学のコース選択は指定しない	出題言語を指定しない	（応用生命化学コースでは、面接を行う前に英語、化学及び生物の試問内容を提示し、面接でそれに関する口頭試問を行います。）
地域資源創成学部	地域資源創成学科		①理系又は文系のいずれかを受験すること ②理科の科目選択は指定しない ③数学のコース選択は指定しない	出題言語を指定しない	小論文(日本語)、面接

※1 日本留学試験の利用試験日のうち、いずれか1回の成績を志願者の申告により利用します。

※2 出願資格として、TOEFLを受験している者。

VII. 畜産別科入試

本学畜産別科は、高等学校卒業又はこれと同等以上の学力のある人に対し、1年の修学期間で肉用牛繁殖、肉用牛肥育、酪農及び草地生産に関する技能教育と、本学教員による教科教育を両立させることにより、実務に有能な人材を養成することを目的としています。

アドミッション・ポリシー	畜産別科は、畜産関係機関の技術者として、また地域農業の担い手として活躍できる人材の育成を目指して、より実践的な教育を行っています。したがって、別科では次のような人を求めています。 (1) 修学に必要な基礎学力を有する人 (2) 家畜（動物）が好きな人 (3) 実際の生産現場に関心を持っている人 (4) 畜産を通して地域農業の発展に貢献したい人
募 集 人 員	4人
出 願 要 件	1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者
選 抜 方 法	筆記試験（一般常識として「国語」「数学」）、面接及び調査書の結果を総合して選抜します。
出 願 期 間	令和8年11月10日（火）～11月12日（木）
選 抜 期 日	令和8年11月20日（金）
合 格 発 表 日	令和8年12月 4日（金）
そ の 他	修学年限は1年です。

VIII. 障がい等のある入学志願者の事前相談

障がい等があり、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、出願書類提出前に本学学び・学生支援機構入試課へご相談ください。相談内容によっては本学において事前の準備を必要とする場合がありますので、各学生募集要項公表後、できるだけ早急にご相談ください。

次表に相談例を示しますので参考にしてください。ただし、この相談例に限定するものではありません。

なお、相談の期限は、各入試の出願開始日の1か月前までとします。

期限以降でも不慮の事故等のため受験上・修学上の配慮を必要とされる場合については、早急に本学学び・学生支援機構入試課へご連絡ください。

相談期限や相談方法などの詳細は、各学生募集要項をご確認ください。

相談例	
①視覚障がい	拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は困難なもの
②聴覚障がい	通常の話声を解することが不可能又は困難なもの (補聴器等を使用しているものを含む)
③肢体不自由	1. 肢体不自由により、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難なもの 2. 肢体不自由により、常時の医学的観察指導を必要とするもの
④病弱	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患により、医療又は生活規制を必要とするもの 2. 身体虚弱により、生活規制を必要とするもの
⑤発達障がい	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がい等のため配慮を必要とするもの
⑥その他	①～⑤以外の者で配慮を必要とするもの(例：吃音など)

Ⅸ. 大学案内等の請求方法

(1) 宮崎大学入試課窓口での請求

宮崎大学事務局棟1階の入試課窓口で配付します。

(2) 郵送による請求

返信用封筒(※1)を本学入試課宛(※2)に送付してください。また、不明な点があった場合、こちらから連絡する可能性もありますので、連絡のとれる連絡先(氏名・電話番号)及び請求したい下記の資料名を書いたメモ書きも同封してください。

※1 返信用封筒には、「角形2号封筒 240 mm×332 mm (A4版が入る大きさ)」で、「大学案内 請求」と朱書き、送付先の住所、氏名及び郵便番号を明記し、下記の送料分の郵便切手を貼ってください。

資 料 名	送 料
大学案内	320 円
入学者選抜要項	320 円
大学案内+入学者選抜要項	510 円

問い合わせ及び請求先(※2)
〒889-2192
宮崎市学園木花台西1-1
宮崎大学学び・学生支援機構入試課
TEL: 0985-58-7138

X. 卒業後の進路・資格等

1. 教育学部

◎ 教育職員免許状等

免許状 課程コース等			小学校教諭 普通免許状	中学校教諭 普通免許状	高等学校教諭 普通免許状	特別支援学校 教諭普通免許状	幼稚園教諭 普通免許状
学校 教育 課程	小中一貫教育コース	小学校主免専攻	1種	2種 1種	1種	2種	2種又は1種
		中学校主免専攻	2種 1種	1種	1種	2種	2種
	教職実践基礎コース		1種	2種又は1種		2種	2種又は1種
	発達支援教育コース	子ども理解専攻	1種	2種		2種	1種
		特別支援教育専攻	1種	2種		1種	2種又は1種
(備考) 1. 太字は卒業時に取得できる免許、細字は各種条件が合えば、取得できる可能性のある免許の例です。 詳細は、入学後に教務・学生支援係にお問い合わせください。 2. 本学学校教育課程で課程認定を受けている中学校及び高等学校の免許教科は次のとおりです。 中 学 校：国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・技術・家庭・英語 高等学校：国語・地理歴史・公民・数学・理科・音楽・美術・保健体育・工業・家庭・英語 3. 本学学校教育課程で課程認定を受けている特別支援学校の免許の領域は、知的障害・肢体不自由・病弱の3領域です。聴覚障害・視覚障害の領域については、取得できません。 4. 学芸員の資格：所定の単位を修得し、申請すれば「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。 5. 学校図書館司書教諭の資格：司書教諭講習を受講し、必要単位を修得すれば「修了証書」が交付されます。							

◎ 大学院（教育学研究科）

学部における専門教育又は教職経験の基礎の上に、教職大学院制度に基づいて学校教育に関する高度の学識及び実践力・応用力を備えた各学校種の新入教員・中堅教員（ミドルリーダー）・管理職教員（スクールリーダー）の育成を目的とする教職実践開発専攻（専門職学位課程）が設けられています。

教職実践開発専攻（専門職学位課程）には、教職実践高度化コース、教科領域指導力高度化コース、特別支援教育コースの3コースがあります。修了者には教職修士（専門職）の学位が授与されます。

2. 医学部

◎ 卒業後の資格

1. 医学科（修業年限6年）を卒業し、医師の国家試験に合格した人には、本人の申請により免許証が与えられます。

2. 看護学科の卒業要件を満たし、卒業が見込まれる人は、看護師の国家試験の受験資格が得られます。また、保健師課程を選択し必要な単位を修得した人は、保健師の国家試験の受験資格が得られます。国家試験に合格した人には、本人の申請により免許証が与えられます。

なお、保健師免許取得後、申請により養護教諭二種免許が得られますが、教育職員免許法施行規則第66条の6に定める「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」の単位取得が必要となります。

※保健師課程を選択するには、2年次後学期に行う選考試験に合格する必要があります。

※助産師教育については、看護学研究科（修士課程）において行っています。

◎ 大学院

1. 看護学研究科（修士課程）

本研究科は、問題解決能力を有する看護実践者の育成と看護学の教育・研究者の素地育成を目的として、『看護学専攻2コース（研究者育成コース、実践看護者育成コース）7領域（基盤システム看護学、地域・精神看護学、成人・老年療養支援看護学、母子健康看護学、がん看護、実践助産学開発、実践助産学）で構成された看護学研究科』で各種の医療機関、保健・福祉施設、行政、教育・研究機関などにおいて、看護実践・指導・研究・教育ができる人材の育成を使命としています。修了者には、修士（看護学）の学位が授与されます。

※看護学研究科においては、令和9年度より健康科学研究科へと名称変更を予定しており、新たに健康科学研究科心理科学専攻（修士課程）および看護学専攻（博士後期課程）の設置を予定しています。それに伴い、看護学研究科（修士課程）は健康科学研究科看護学専攻（博士前期課程）となる予定です。なお、設置計画等は予定であり、内容は変更となる可能性があります。

2. 医学獣医学総合研究科（修士課程・博士課程）

教育研究の充実と進化を深めるために、医学獣医学総合研究科博士課程医学獣医学専攻には、3コース（①高度臨床医育成コース、②高度獣医師育成コース、③研究者育成コース）があります。本研究科は、高度専門職業人としての医師、獣医師及び研究者・教育者の育成を主眼とし、医学・獣医学の分野において自立して研究活動を行うのに必要な高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とし、医学・獣医学の発展と社会の福祉の向上に寄与することを使命としています。

本研究科に原則として4年以上在学し、指導教員の下に、所要の単位を修得するとともに、学位審査及び試験に合格した人には、博士（医学、獣医学のいずれか）の学位が授与されます。

また、医学獣医学総合研究科修士課程医科学獣医科学専攻には、3コース（生命科学研究者育成コース、高度医療関連技師・サービスイノベーション人材養成コース、生命倫理コーディネーターコース）があります。

本専攻は、医学と獣医学を融合した高度な研究活動を実践している本研究科博士課程への進学を視野に入れた教育研究を行うものであり、また、地域社会の要請に応えうる人材の輩出を考慮した教育研究を目指すものです。そして、本専攻での修学は、医学・獣医学分野及び医療社会学分野の研究と教育、あるいは高度な診療支援に携われる人材の養成を主眼としており、生命科学の発展と社会の福祉の向上に寄与することを使命としています。修了者には、修士（医科学、動物医科学のいずれか）の学位が授与されます。

3. 工学部

◎ 卒業後の資格

全プログラムとも、博物館法施行規則に定める科目及び工学部の定める科目の所要単位を修得した人には、学芸員資格取得のための「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。

また、以下のプログラムの卒業生は次の資格を取得することができます。

1. 化学生命プログラム

- 教育職員免許法に定める科目の所要単位を修得した人は、高等学校教諭 1 種（理科）の免許状または高等学校教諭 1 種（工業）の免許状取得の資格が与えられます。ただし、卒業に必要な単位を取得し、卒業することが条件になります。
- 卒業後 2 年以上の産業安全の実務を経験し、厚生労働大臣の定める研修を修了すれば、安全管理者になる資格が得られます。
- 甲種危険物取扱者（第 1 類～第 6 類すべての種類の危険物の取り扱いと立ち会いが認められる資格）の受験資格が得られます。なお、大学において化学に関する授業科目を 15 単位以上修得した時点で受験できるので、在学中に資格を取得することも可能です。
- 卒業後、厚生労働省令で定める学校で応用化学に関する学課を修了した人として、毒物劇物を取り扱う製造所、営業所又は店舗毎に専任が必要な「毒物劇物取扱責任者」となる資格を有します。

2. 土木環境プログラム

- 測量に係る所定の科目（測量学、測量学実習Ⅰ、測量学実習Ⅱ）の単位を修得した人は、卒業後に所管機関に申請することによって「測量士補」の資格が与えられます。
- 教育職員免許法に定める科目の所要単位を修得した人は、高等学校教諭 1 種（工業）の免許状取得の資格が与えられます。ただし、卒業に必要な単位を取得し、卒業することが条件になります。

3. 半導体サイエンスプログラム

- 教育職員免許法に定める科目の所要単位を修得した人は、高等学校教諭 1 種（理科）の免許状または高等学校教諭 1 種（工業）の免許状取得の資格が与えられます。ただし、卒業に必要な単位を取得し、卒業することが条件になります。

4. 電気電子システムプログラム

- 教育職員免許法に定める科目の所要単位を修得した人は、高等学校教諭 1 種（工業）の免許状取得の資格が与えられます。ただし、卒業に必要な単位を取得し、卒業することが条件になります。

5. 機械知能プログラム

- 教育職員免許法に定める科目の所要単位を修得した人は、高等学校教諭 1 種（工業）の免許状取得の資格が与えられます。ただし、卒業に必要な単位を取得し、卒業することが条件になります。

6. 情報通信プログラム

- 教育職員免許法に定める科目の所要単位を修得した人は、高等学校教諭1種（情報）の免許状取得の資格が与えられます。ただし、卒業に必要な単位を取得し、卒業することが条件になります。

※以上の資格に関する記載内容は、予定であり変更もあり得ます。内容等に変更が生じた場合は、本学ホームページ等で随時お知らせいたします。

◎ 大学院

1. 大学教育の基礎の上に高度の専門的な知識を修得し、工学の発展に寄与できる技術者、研究者及び教育者を養成する工学研究科（修士課程）が設けてあり、修了者には修士（工学）の学位が授与されます。
2. 農学工学総合研究科は、農学と工学が連携・融合した教育研究領域の深化を図り、広範な知識に基づいた総合的判断力と高度な研究能力を備え、技術・知識基盤社会の形成に資する高度専門技術者の養成を目指します。修了者には博士（農学、工学、学術のいずれか）の学位が授与されます。

4. 農学部

◎卒業後の資格

関連科目を履修することにより、下記の表に示すような資格や免許、これらの受験資格あるいは受験上の恩恵を得ることができます。※時間割の都合により、複数資格の取得は難しい場合があります。

(※【動】：農学科動植物資源生命科学コース 【森】：農学科森林環境持続性科学コース

【海】：農学科海洋生命科学コース 【応】：農学科応用生命化学コース 【獣】：獣医学科)

整理 番号	資格名称		国家資格・ 民間資格の別	資格取得・ 受験資格の別	資格取得要件等	関連する学科・コース				
						動	森	海	応	獣
1-1	高等学 校教諭	農業	国家資格*1 (都道府県 教育委員会)	資格取得	本学部所定の課程を修了し、別に教育職員免許法に定める科目の所定単位を修得した者には、高等学校教諭一種(農業・水産・理科)の普通免許状の資格が与えられる。	○	○		△ *3	
1-2	一種免	水産						○		
1-3	許状	理科				○	○	○	○	
2	学芸員		国家資格(文 部科学省)	資格取得	本学部所定の課程を修了し、博物館法施行規則の定める科目、併せて教育学部の定める科目、工学部の定める科目ならびに農学部の定める科目について所定の単位を修得した者には、学芸員の資格が与えられる。	○	○	○	○	○
3	食品衛生管理 者		国家資格(厚 生労働省)	資格取得	本学部所定の課程を修了し、厚生労働省のホームページを参照し、各自で申請することで取得できる。	○		○	○	○
4	食品衛生監視 員		国家資格*2 (国または 地方自治体)	資格取得(任 用資格)	公務員における食品衛生の部局に配属された時にこの名称が与えられる任用資格である。	○		○	○	○
5	毒物劇物取扱 責任者		国家資格(厚 生労働省)	資格取得	本学部を卒業するまでに応用化学に関する所定の科目を履修することで取得できる。				○	
6	危険物取扱者 (甲種)		国家資格(総 務省)	受験資格	本学部を卒業するまでに化学に関する所定の科目を履修した者に危険物取扱者(甲種)の受験資格が与えられる。				○	
7	測量士補		国家資格(国 土交通省)	資格取得	本学部を卒業するまでに所定の科目を履修した上で、各自で国土地理院に申請することで取得できる。		○			
8	飼料製造管理 者		国家資格(農 林水産省)	資格取得	本学部を卒業するまでに所定の科目を履修した者は、飼料製造管理者の有資格者となる。特別の注意を必要とする資料等を製造する事業場に就職した際、飼料製造管理者届を農林水産大臣宛てに提出する必要がある。	○				
9	家畜人工授精 師		国家資格(農 林水産省)	資格取得	本学部を卒業するまでに所定の科目を履修することで取得できる。	○				
10	獣医師		国家資格(農 林水産省)	受験資格	本学部を卒業するまでに所定の科目を履修することで、獣医師国家試験の受験資格が与えられる。獣医師国家試験に合格することで、獣医師免許を取得できる。					○

整理 番号	資格名称	国家資格・ 民間資格の 別	資格取得・ 受験資格の 別	資格取得要件等	関連する学科・コース				
					動	森	海	応	獣
11	自然再生士補	民 間 資 格 （（一財）日 本 緑 化 セ ン ター）	資格取得	本学部を卒業するまでに所定の科目を履修した上で、一般財団法人日本緑化センターのホームページを参照し、各自で申請することで取得できる。		○			
12	樹木医補	民 間 資 格 （（一財）日 本 緑 化 セ ン ター）	資格取得	本学部を卒業するまでに所定の科目を履修した上で、一般財団法人日本緑化センターのホームページを参照し、各自で申請することで取得できる。		○			
13	森林情報士2級	民 間 資 格 （（一社）日 本 森 林 技 術 協会）	資格取得	本学部を卒業するまでに所定の科目を履修した上で、各自で一般社団法人日本森林技術協会に申請することで取得できる。		○			
14	実験動物一級技術者	民 間 資 格 （（公社）日 本 実 験 動 物 協会）	受験資格	本学部を卒業するまでに所定の科目を履修した者は、4年次に実験動物一級技術者の試験を受けることができる。学科試験および実地試験の両試験に合格した者は、認定登録申請により実験動物一級技術者の資格を取得できる。	○				

＊1 教員免許状は国の資格制度が規定する国家資格ではなく、教育職員免許法に基づき都道府県教育委員会が授与する免許状であるが、本表では便宜的に国家資格に分類した。

＊2 食品衛生監視員は国の資格制度が規定する国家資格ではなく、食品衛生法に基づき国または地方自治体が任命する任用資格であるが、本表では便宜的に国家資格に分類した。

＊3 高等学校教諭一種免許状（農業）について、農学科応用生命化学コースは農学科の他コースの科目単位を所定数修得することで、取得可能となる。

◎ 大学院

1. 大学教育の基礎の上に高度の専門的な知識と技能を修めるとともに、農業の近代化に即応する高度な技術者・研究者及び教育者を養成する農学研究科（修士課程）が設けてあり、修了した人には、修士（農学、水産学、学術のいずれか）の学位が授与されます。

2. 農学工学総合研究科は、農学と工学が連携・融合した教育研究領域の深化を図り、広範な知識に基づいた総合的判断力と高度な研究能力を備え、技術・知識基盤社会の形成に資する高度専門技術者の養成を目指します。修了者には博士（農学、工学、学術のいずれか）の学位が授与されます。

3. 医学獣医学総合研究科は、医学部と獣医学科が連携した大学院で、高度獣医療を実践する臨床獣医師ならびに国際的に活躍できる研究者を目指す高次教育を行います。修了者には、博士（獣医学、医学のいずれか）の学位が授与されます。

また、「宮崎大学大学院医学獣医学総合研究科（修士課程）」は、医学・獣医学分野及び医療社会学分野の研究と教育、あるいは高度な診療支援に携われる人材の養成を主眼とし、専門分野に偏らない幅広い基盤的知

識の習得、それを基礎とした研究能力を養う教育を行います。修了者には修士（医科学、動物医科学のいずれか）の学位が授与されます。

5. 地域資源創成学部

◎ 卒業後の進路

地方公務員（県庁、市町村役場）、国家公務員、IT 業界、放送局、運輸業（航空業界、高速道路等）、電気・ガス・水道業、卸・小売業、製造業（食品・飲料、繊維、化学工業、自動車部品等）、団体職員、生活関連サービス業、大学職員、教育・学習支援業、金融業、不動産業、複合サービス業、専門技術サービス業（土業、コンサルタント業等）、建設業、進学など

◎ 大 学 院

地域学、地域資源論、地域資源利活用論の3つの領域で構成される教育研究を通じ、地域に賦存する多様な地域資源の利活用から新しい創造的価値の創出を行い、今後の社会経済環境の変化に対応可能な強靱で持続可能な地域社会の形成を推進・実現することが可能な高度な専門性を確保した人材養成を目指します。修了者には、修士（地域資源創成学）の学位が授与されます。

令和8年度（2026年度）宮崎大学入学試験実施状況

【総括】

学 部	学 科 等	募集 人員	志願者		受験者			合格者			入学者		
			総数	倍率	総数	(女子)	(現役)	総数	(女子)	(現役)	総数	(女子)	(現役)
教育学部 学校教育課程	小中一貫教育コース 小学校主免専攻	70	379	5.4	190	(102)	(187)	77	(49)	(74)	76	(49)	(73)
	小中一貫教育コース 中学校主免専攻	35	99	2.8	90	(46)	(85)	39	(17)	(36)	39	(17)	(36)
	教職実践基礎コース	15	30	2.0	28	(14)	(27)	16	(10)	(16)	16	(10)	(16)
	発達支援教育コース 子ども理解専攻	10	60	6.0	52	(42)	(51)	11	(11)	(11)	11	(11)	(11)
	発達支援教育コース 特別支援教育専攻	10	19	1.9	17	(12)	(17)	11	(10)	(11)	11	(10)	(11)
	小計	140	587	4.2	377	(216)	(367)	154	(97)	(148)	153	(97)	(147)
医 学 部	医学科	100	668	6.7	244	(120)	(117)	103	(43)	(47)	103	(43)	(47)
	看護学科	60	118	2.0	92	(86)	(87)	64	(59)	(59)	63	(58)	(58)
	小計	160	786	4.9	336	(206)	(204)	167	(102)	(106)	166	(101)	(105)
工 学 部	工学科	370	1356	3.7	752	(131)	(655)	441	(85)	(396)	381	(65)	(342)
	小計	370	1356	3.7	752	(131)	(655)	441	(85)	(396)	381	(65)	(342)
農 学 部	農学科	235	1180	5.0	793	(370)	(673)	270	(139)	(223)	238	(127)	(202)
	獣医学科	30	280	9.3	190	(123)	(116)	34	(18)	(18)	34	(18)	(18)
	小計	265	1460	5.5	983	(493)	(789)	304	(157)	(241)	272	(145)	(220)
地域資源 創成学部	地域資源創成学科	90	272	3.0	180	(80)	(165)	104	(54)	(96)	92	(50)	(85)
	小計	90	272	3.0	180	(80)	(165)	104	(54)	(96)	92	(50)	(85)
合計		1025	4461	4.4	2628	(1126)	(2180)	1170	(495)	(987)	1064	(458)	(899)

※前期日程、後期日程、学校推薦型選抜、総合型選抜、帰国生徒選抜、社会人選抜、私費外国人留学生選抜の総計。

※志願者は、第2志望等の志願者を含まない。合格者・入学者は、第2志望等の合格者・入学者を含む。

※医学部医学科の受験者には、第1段階選抜不合格者を含まない。

【前期日程】

学 部	学 科 等	募集 人員	志 願 者		受 験 者			合 格 者			入 学 者		
			総数	倍率	総数	(女子)	(現役)	総数	(女子)	(現役)	総数	(女子)	(現役)
教育学部 学校教育課程	小中一貫教育コース 小学校主免専攻(2/3型)	20	70	3.5	47	(24)	(46)	24	(14)	(22)	23	(14)	(21)
	小中一貫教育コース 小学校主免専攻(理系型)	10	29	2.9	24	(7)	(24)	11	(3)	(11)	11	(3)	(11)
	小中一貫教育コース 中学校主免専攻(2/3型)	10	46	4.6	40	(25)	(37)	13	(9)	(12)	13	(9)	(12)
	小中一貫教育コース 中学校主免専攻(理系型)	10	22	2.2	19	(4)	(17)	12	(2)	(10)	12	(2)	(10)
	教職実践基礎コース	8	16	2.0	14	(3)	(13)	9	(3)	(9)	9	(3)	(9)
	発達支援教育コース 子ども理解専攻	7	55	7.9	47	(37)	(46)	8	(8)	(8)	8	(8)	(8)
	発達支援教育コース 特別支援教育専攻	7	13	1.9	11	(8)	(11)	8	(7)	(8)	8	(7)	(8)
	小計	72	251	3.5	202	(108)	(194)	85	(46)	(80)	84	(46)	(79)
医 学 部	医学科	45	121	2.7	96	(50)	(40)	47	(16)	(17)	47	(16)	(17)
	看護学科	35	69	2.0	43	(38)	(38)	39	(34)	(34)	38	(33)	(33)
	小計	80	190	2.4	139	(88)	(78)	86	(50)	(51)	85	(49)	(50)
工 学 部	工学科	200	356	1.8	343	(57)	(304)	235	(43)	(214)	208	(32)	(188)
	小計	200	356	1.8	343	(57)	(304)	235	(43)	(214)	208	(32)	(188)
農 学 部	農学科	109	437	4.0	405	(180)	(334)	147	(73)	(120)	132	(67)	(110)
	獣医学科	20	95	4.8	92	(59)	(48)	22	(14)	(13)	22	(14)	(13)
	小計	129	532	4.1	497	(239)	(382)	169	(87)	(133)	154	(81)	(123)
地域資源 創成学部	地域資源創成学科	55	91	1.7	88	(38)	(81)	64	(30)	(59)	56	(28)	(52)
	小計	55	91	1.7	88	(38)	(81)	64	(30)	(59)	56	(28)	(52)
合計		536	1420	2.6	1269	(530)	(1039)	639	(256)	(537)	587	(236)	(492)

※志願者は、第2志望等の志願者を含まない。合格者・入学者は、第2志望等の合格者・入学者を含む。

【後期日程】

学 部	学 科 等	募集 人員	志 願 者		受 験 者			合 格 者			入 学 者		
			総数	倍率	総数	(女子)	(現役)	総数	(女子)	(現役)	総数	(女子)	(現役)
教 育 学 部 学校教育課程	小中一貫教育コース 小学校主免専攻	10	224	22.4	65	(32)	(63)	12	(10)	(11)	12	(10)	(11)
	小 計	10	224	22.4	65	(32)	(63)	12	(10)	(11)	12	(10)	(11)
医 学 部	医学科	15	445	29.7	47	(16)	(21)	16	(7)	(6)	16	(7)	(6)
	小 計	15	445	29.7	47	(16)	(21)	16	(7)	(6)	16	(7)	(6)
工 学 部	工学科	93	859	9.2	268	(38)	(217)	136	(25)	(113)	104	(17)	(85)
	小 計	93	859	9.2	268	(38)	(217)	136	(25)	(113)	104	(17)	(85)
農 学 部	農学科	43	588	13.7	246	(105)	(207)	58	(23)	(43)	43	(18)	(32)
	獣医学科	10	173	17.3	86	(56)	(60)	10	(3)	(3)	10	(3)	(3)
	小 計	53	761	14.4	332	(161)	(267)	68	(26)	(46)	53	(21)	(35)
地 域 資 源 創 成 学 部	地域資源創成学科	15	134	8.9	45	(18)	(38)	19	(9)	(17)	15	(7)	(13)
	小 計	15	134	8.9	45	(18)	(38)	19	(9)	(17)	15	(7)	(13)
合 計		186	2423	13.0	757	(265)	(606)	251	(77)	(193)	200	(62)	(150)

※ 志願者は、第2志望等の志願者を含まない。合格者・入学者は、第2志望等の合格者・入学者を含む。

※ 医学部医学科の受験者には、第1段階選抜不合格者を含まない。

【学校推薦型選抜】

学 部	学 科 等	募集 人員	志 願 者		受 験 者		合 格 者		入 学 者	
			総数	倍率	総数	(女子)	総数	(女子)	総数	(女子)
教 育 学 部 学校教育課程	小中一貫教育コース	32	60	1.9	60	(38)	32	(21)	32	(21)
	小学校主免専攻	25	38	1.5	38	(25)	25	(17)	25	(17)
	中学校主免専攻	7	22	3.1	22	(13)	7	(4)	7	(4)
	教職実践基礎コース	7	14	2.0	14	(11)	7	(7)	7	(7)
	発達支援教育コース	6	11	1.8	11	(9)	6	(6)	6	(6)
	子ども理解専攻	3	5	1.7	5	(5)	3	(3)	3	(3)
	特別支援教育専攻	3	6	2.0	6	(4)	3	(3)	3	(3)
	小 計	45	85	1.9	85	(58)	45	(34)	45	(34)
医 学 部	医学科	40	102	2.6	101	(54)	40	(20)	40	(20)
	地域枠A	10	45	4.5	45	(24)	21	(11)	21	(11)
	地域枠B	15	35	2.3	34	(23)	9	(6)	9	(6)
	地域枠C	15	22	1.5	22	(7)	10	(3)	10	(3)
	看護学科	25	49	2.0	49	(48)	25	(25)	25	(25)
	小 計	65	151	2.3	150	(102)	65	(45)	65	(45)
工 学 部	工学科									
	化学生命プログラム	9	17	1.9	17	(15)	9	(7)	9	(7)
	宮崎県就職希望枠 普通科区分	3	0	0.0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	宮崎県就職希望枠 専門学科・総合学科区分	2	0	0.0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	女子枠	2	15	7.5	15	(15)	7	(7)	7	(7)
	一般枠	2	2	1.0	2	(0)	2	(0)	2	(0)
	土木環境プログラム	13	18	1.4	18	(6)	13	(3)	13	(3)
	宮崎県就職希望枠 普通科区分	5	4	0.8	4	(0)	4	(0)	4	(0)
	宮崎県就職希望枠 専門学科・総合学科区分	2	3	1.5	3	(0)	2	(0)	2	(0)
	女子枠	3	6	2.0	6	(6)	3	(3)	3	(3)
	一般枠	3	5	1.7	5	(0)	4	(0)	4	(0)
	半導体サイエンスプログラム	9	5	0.6	5	(0)	5	(0)	5	(0)
	宮崎県就職希望枠 普通科区分	2	2	1.0	2	(0)	2	(0)	2	(0)
	宮崎県就職希望枠 専門学科・総合学科区分	2	0	0.0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	女子枠	2	0	0.0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	一般枠	3	3	1.0	3	(0)	3	(0)	3	(0)
	電気電子システムプログラム	10	10	1.0	10	(0)	8	(0)	8	(0)
	宮崎県就職希望枠 普通科区分	4	5	1.3	5	(0)	4	(0)	4	(0)
	宮崎県就職希望枠 専門学科・総合学科区分	2	2	1.0	2	(0)	2	(0)	2	(0)
	女子枠	2	0	0.0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	一般枠	2	3	1.5	3	(0)	2	(0)	2	(0)

工学部	機械知能プログラム	12	27	2.3	27	(3)	12	(2)	12	(2)
	宮崎県就職希望枠 普通科区分	3	5	1.7	5	(0)	3	(0)	3	(0)
	宮崎県就職希望枠 専門学科・総合学科区分	3	5	1.7	5	(0)	3	(0)	3	(0)
	女子枠	2	3	1.5	3	(3)	2	(2)	2	(2)
	一般枠	4	14	3.5	14	(0)	4	(0)	4	(0)
	情報通信プログラム	12	26	2.2	26	(8)	12	(3)	12	(3)
	宮崎県就職希望枠 普通科区分	3	6	2.0	6	(0)	3	(0)	3	(0)
	宮崎県就職希望枠 専門学科・総合学科区分	3	6	2.0	6	(0)	3	(0)	3	(0)
	女子枠	3	8	2.7	8	(8)	3	(3)	3	(3)
	一般枠	3	6	2.0	6	(0)	3	(0)	3	(0)
	小 計	65	103	1.6	103	(32)	59	(15)	59	(15)
農 学 部	農学科	24	41	1.7	41	(26)	22	(15)	22	(15)
	動植物資源生命科学コース	15	30	2.0	30	(22)	13	(11)	13	(11)
	専門学科等区分・畜産	4	6	1.5	6	(5)	4	(3)	4	(3)
	専門学科等区分・農業	3	2	0.7	2	(0)	1	(0)	1	(0)
	普通科区分	8	22	2.8	22	(17)	8	(8)	8	(8)
	森林環境持続性科学コース	7	8	1.1	8	(4)	7	(4)	7	(4)
	海洋生命科学コース	2	3	1.5	3	(0)	2	(0)	2	(0)
	獣医学科	若干名 (上限2名)	9	(4.5)	9	(7)	2	(1)	2	(1)
	小 計	24	50	2.1	50	(33)	24	(16)	24	(16)
地 域 資 源 創 成 学 部	地域資源創成学科	20	46	2.3	46	(24)	20	(15)	20	(15)
	小 計	20	46	2.3	46	(24)	20	(15)	20	(15)
合 計		219	435	2.0	434	(249)	213	(125)	213	(125)

【総合型選抜Ⅰ】

学 部	学 科 等	募集 人員	志 願 者		受 験 者		合 格 者		入 学 者	
			総数	倍率	総数	(女子)	総数	(女子)	総数	(女子)
教 育 学 部 学校教育課程	小中一貫教育コース	13	27	2.1	25	(18)	12	(7)	12	(7)
	小学校主免専攻	5	18	3.6	16	(14)	5	(5)	5	(5)
	中学校主免専攻(音楽)	8	5	1.1	5	(4)	3	(2)	3	(2)
	中学校主免専攻(美術)		0		0	(0)	0	(0)	0	(0)
	中学校主免専攻(保健体育)		4		4	(0)	4	(0)	4	(0)
工 学 部	工学科	12	31	2.6	31	(2)	10	(1)	10	(1)
	化学生命プログラム	2	0	0.0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	土木環境プログラム	2	10	5.0	10	(1)	2	(1)	2	(1)
	半導体サイエンスプログラム	2	8	4.0	8	(1)	2	(0)	2	(0)
	電気電子システムプログラム	2	2	1.0	2	(0)	2	(0)	2	(0)
	機械知能プログラム	2	7	3.5	7	(0)	2	(0)	2	(0)
	情報通信プログラム	2	4	2.0	4	(0)	2	(0)	2	(0)
農 学 部	農学科	25	71	2.8	59	(37)	25	(20)	25	(20)
	動植物資源生命科学コース	8	30	3.8	26	(16)	8	(6)	8	(6)
	森林環境持続性科学コース	3	9	3.0	9	(5)	3	(1)	3	(1)
	海洋生命科学コース	4	20	5.0	12	(7)	4	(4)	4	(4)
	応用生命化学コース	10	12	1.2	12	(9)	10	(9)	10	(9)
合 計		50	129	2.6	115	(57)	47	(28)	47	(28)

※受験者は、第2次選考を受験した人数。

【総合型選抜Ⅱ】

学 部	学 科 等	募集 人員	志 願 者		受 験 者		合 格 者		入 学 者	
			総数	倍率	総数	(女子)	総数	(女子)	総数	(女子)
農 学 部	農学科	34	39	1.1	38	(21)	15	(7)	15	(7)
	動植物資源生命科学コース	12	16	1.3	16	(12)	6	(3)	6	(3)
	森林環境持続性科学コース	5	6	1.2	5	(3)	3	(2)	3	(2)
	海洋生命科学コース	14	15	1.1	15	(5)	6	(2)	6	(2)
	応用生命化学コース	3	2	0.7	2	(1)	0	(0)	0	(0)
合 計		34	39	1.1	38	(21)	15	(7)	15	(7)

【帰国生徒選抜】

学 部	学 科 等	募 集 人 員	志 願 者	受 験 者		合 格 者		入 学 者	
				総数	(女子)	総数	(女子)	総数	(女子)
教 育 学 部 学校教育課程	小中一貫教育コース	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	小学校主免専攻	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	中学校主免専攻	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	教職実践基礎コース	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	発達支援教育コース	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	子ども理解専攻	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	特別支援教育専攻	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	小 計	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
農 学 部	農学科								
	動植物資源生命科学コース	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	森林環境持続性科学コース	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	海洋生命科学コース	若干名	1	1	(0)	0	(0)	0	(0)
	応用生命化学コース	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	小 計	若干名	1	1	(0)	0	(0)	0	(0)
合 計		若干名	1	1	(0)	0	(0)	0	(0)

【社会人選抜】

学 部	学 科 等	募 集 人 員	志 願 者	受 験 者		合 格 者		入 学 者	
				総数	(女子)	総数	(女子)	総数	(女子)
農 学 部	農学科								
	動植物資源生命科学コース	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	森林環境持続性科学コース	若干名	1	1	(0)	1	(0)	1	(0)
	海洋生命科学コース	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	応用生命化学コース	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	小 計	若干名	1	1	(0)	1	(0)	1	(0)
合 計		若干名	1	1	(0)	1	(0)	1	(0)

【私費外国人留学生選抜】

学 部	学 科 等	募 集 人 員	志 願 者	受 験 者		合 格 者		入 学 者	
				総数	(女子)	総数	(女子)	総数	(女子)
工学部	工学科								
	化学生命プログラム	若干名	2	2	(0)	0	(0)	0	(0)
	土木環境プログラム	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	半導体サイエンスプログラム	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	電気電子システムプログラム	若干名	1	1	(0)	0	(0)	0	(0)
	機械知能プログラム	若干名	1	1	(0)	0	(0)	0	(0)
	情報通信プログラム	若干名	3	3	(2)	1	(1)	0	(0)
	小 計	若干名	7	7	(2)	1	(1)	0	(0)

農 学 部	農学科	若干名	2	2	(1)	2	(1)	0	(0)
	動植物資源生命科学コース	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	森林環境持続性科学コース	若干名	1	1	(1)	1	(1)	0	(0)
	海洋生命科学コース	若干名	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	応用生命化学コース	若干名	1	1	(0)	1	(0)	0	(0)
	獣医学科	若干名	3	3	(1)	0	(0)	0	(0)
	小 計	若干名	5	5	(2)	2	(1)	0	(0)
地 域 資 源 創 成 学 部	地域資源創成学科	若干名	1	1	(0)	1	(0)	1	(0)
	小 計	若干名	1	1	(0)	1	(0)	1	(0)
合 計		若干名	13	13	(4)	4	(2)	1	(0)

一般選抜合格者の最高点・最低点・平均点

学 部	学 科 等	日 程	募集人員	合格者数	配点合計	合 格 者		
						最高点	最低点	平均点
教 育 学 部 学校教育課程	小中一貫教育コース小学校主免専攻							
	2/3型+面接入試	前期	20	24	1500	1150	868	919
	理系型+面接入試	前期	10	11	1600	...	...	778
	小論文+面接入試	後期	10	12	1600	...	...	1055
	小中一貫教育コース中学校主免専攻							
	2/3型+面接入試	前期	10	13	1500	...	...	953
	理系型+面接入試	前期	10	12	1600	...	...	808
	教職実践基礎コース							
	教職実践基礎コース	前期	8	9	1500	...	...	877
	発達支援教育コース							
	子ども理解専攻	前期	7	8	1500	...	...	848
	特別支援教育専攻	前期	7	8	1500	...	...	813
医 学 部	医学科	前期	45	47	1600	1323	1066	1190
		後期	15	16	1150	1036	955	980
	看護学科	前期	35	39	1200	856	571	716
工 学 部	工学科	前期	200	235	1210	1009	533	646
		後期	93	136	955	762	492	591
農 学 部	農学科	前期	109	147	710	540	393	430
		後期	43	58	810	694	521	573
	獣医学科	前期	20	22	1405	1223	1114	1147
		後期	10	10	1305	...	...	1088
地 域 資 源 創 成 学 部	地域資源創成学科	前期	55	64	1310	1078	746	825
		後期	15	19	1250	935	812	854

※ 合格者数が15名未満の場合、最高点及び最低点は非公開。

※ 教育学部小中一貫教育コース（前期）の最高点、最低点及び平均点には、第2志望合格者の得点を含む。

志願者・入学者の出身高校等所在地別調

都 道 府 県		教 育 学 部		医 学 部		工 学 部		農 学 部		地域資源創成学部		合 計	
		志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者
1	北 海 道	0	0	6	0	1	1	14	4	0	0	21	5
	東 北 地 方	1	0	4	0	2	0	4	2	1	1	12	3
2	青 森 県	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0
3	岩 手 県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	宮 城 県	0	0	1	0	1	0	3	1	0	0	5	1
5	秋 田 県	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1
6	山 形 県	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0
7	福 島 県	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1
	関 東 地 方	8	1	115	16	17	5	107	16	0	0	247	38
8	茨 城 県	3	0	7	3	2	1	14	1	0	0	26	5
9	栃 木 県	0	0	0	0	1	0	3	1	0	0	4	1
10	群 馬 県	0	0	5	0	1	0	6	0	0	0	12	0
11	埼 玉 県	2	0	7	2	2	0	19	3	0	0	30	5
12	千 葉 県	1	1	13	2	1	0	15	2	0	0	30	5
13	東 京 都	2	0	58	5	4	2	35	6	0	0	99	13
14	神 奈 川 県	0	0	25	4	6	2	15	3	0	0	46	9
	中 部 地 方	16	4	38	5	45	9	107	15	8	4	214	37
15	新 潟 県	1	0	5	1	1	0	6	2	0	0	13	3
16	富 山 県	1	1	0	0	1	1	1	0	0	0	3	2
17	石 川 県	0	0	1	0	1	0	6	1	0	0	8	1
18	福 井 県	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
19	山 梨 県	1	0	4	0	1	0	2	0	0	0	8	0
20	長 野 県	2	1	5	1	1	0	10	1	0	0	18	3
21	岐 阜 県	0	0	2	0	0	0	11	0	0	0	13	0
22	静 岡 県	8	1	5	1	8	1	16	1	4	1	41	5
23	愛 知 県	3	1	16	2	32	7	54	10	4	3	109	23
	近 畿 地 方	16	3	102	13	35	10	156	29	14	2	323	57
24	三 重 県	2	0	3	0	0	0	17	5	0	0	22	5
25	滋 賀 県	0	0	5	0	0	0	10	2	0	0	15	2
26	京 都 府	1	0	12	2	10	1	16	4	0	0	39	7
27	大 阪 府	2	0	30	5	7	4	65	9	9	2	113	20
28	兵 庫 県	7	1	41	6	12	3	34	8	5	0	99	18
29	奈 良 県	1	0	4	0	2	1	8	1	0	0	15	2
30	和 歌 山 県	3	2	7	0	4	1	6	0	0	0	20	3
	中 国 地 方	31	12	41	4	35	9	95	14	17	4	219	43
31	鳥 取 県	4	3	4	0	3	0	5	0	2	0	18	3
32	島 根 県	2	0	0	0	1	0	12	1	1	0	16	1
33	岡 山 県	8	3	17	2	8	1	17	3	2	0	52	9
34	広 島 県	10	4	19	2	14	4	33	6	6	2	82	18
35	山 口 県	7	2	1	0	9	4	28	4	6	2	51	12
	四 国 地 方	5	0	21	1	19	7	44	6	4	1	93	15
36	徳 島 県	0	0	4	0	3	0	5	1	0	0	12	1
37	香 川 県	1	0	7	0	1	0	15	3	1	0	25	3
38	愛 媛 県	4	0	7	1	14	6	21	2	3	1	49	10
39	高 知 県	0	0	3	0	1	1	3	0	0	0	7	1
	九 州 地 方	510	133	456	127	1194	340	918	185	226	79	3304	864
40	福 岡 県	31	10	67	10	181	64	204	42	7	1	490	127
41	佐 賀 県	13	2	3	0	39	8	34	7	5	2	94	19
42	長 崎 県	31	5	32	2	99	32	59	18	6	2	227	59
43	熊 本 県	56	9	23	6	128	28	96	19	7	3	310	65
44	大 分 県	12	0	19	4	79	19	87	19	5	0	202	42
45	宮 崎 県	326	99	253	87	508	155	282	54	174	64	1543	459
46	鹿 児 島 県	41	8	48	16	157	33	127	17	21	7	394	81
47	沖 縄 県	0	0	11	2	3	1	29	9	1	0	44	12
	そ の 他	0	0	3	0	8	0	15	1	2	1	28	2
	合 計	587	153	786	166	1356	381	1460	272	272	92	4461	1064

※ その他は、高等学校卒業程度認定試験合格者、外国の学校等を卒業した者。

宮崎大学 位置図



木花キャンパスへの交通アクセス（教育学部・工学部・農学部・地域資源創成学部）

〒889-2192 宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地

【宮崎交通バスを利用する場合】「宮崎大学・大学病院」行に乗車
「宮崎駅」→「橘通り」→「宮交シティ」→「宮崎大学」停留所にて下車
(約45分) (約40分) (約30分)

【タクシーを利用する場合】

○宮崎空港から：約20分
○JR清武駅から：約15分

○JR木花駅から：約10分
○JR南宮崎駅から：約25分

清武キャンパスへの交通アクセス（医学部）

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200番地

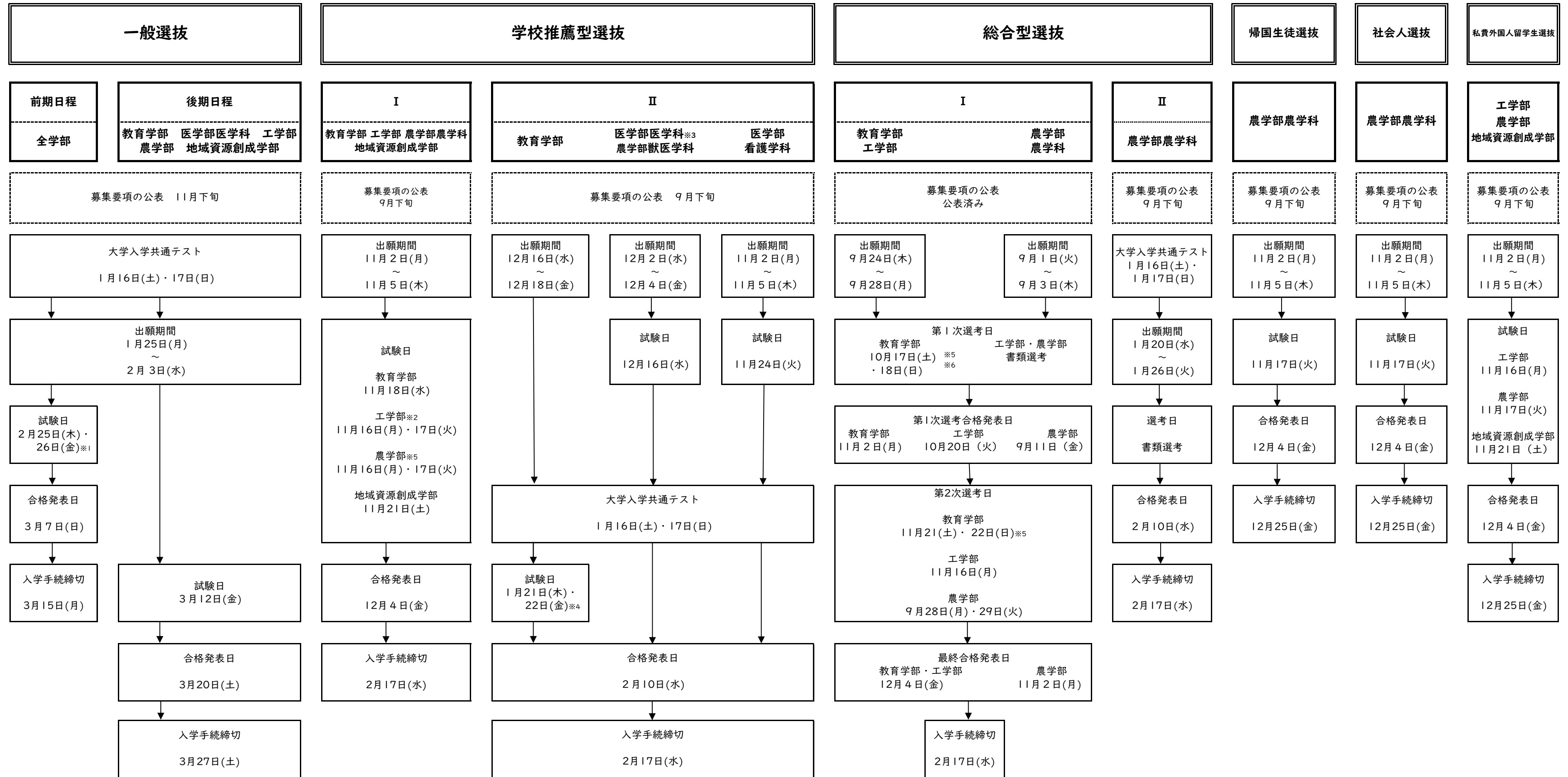
【宮崎交通バスを利用する場合】「宮崎大学・大学病院」行に乗車
「宮崎駅」→「橘通り」→「宮交シティ」→「大学病院」停留所にて下車
(約45分) (約40分) (約30分)

【タクシーを利用する場合】

○宮崎空港から：約20分
○JR清武駅から：約10分

○JR木花駅から：約15分
○JR南宮崎駅から：約25分

入学者選抜試験日程：令和8年9月～令和9年3月



- ※1 医学部看護学科、工学部、農学部、地域資源創成学部は2月25日の1日のみ実施。
 ※2 筆記試験及び小論文は11月16日(月)に、面接は17日(火)に実施します。
 ※3 医学部医学科の学校推薦型選抜は第2次選考の日程を記載しています。
 ※4 志願者数によっては1日で終了する場合があります。
 ※5 志願者数によっては1日目で終了する場合があります。
 ※6 教育学部小学校主免専攻の第1次選考は書類選考を行います。

入試に関するお問い合わせ先

宮崎大学 学び・学生支援機構 入試課
 〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
 ホームページ <https://www.miyazaki-u.ac.jp/>
 TEL 0985-58-7138
 E-mail nyushi@miyazaki-u.ac.jp

